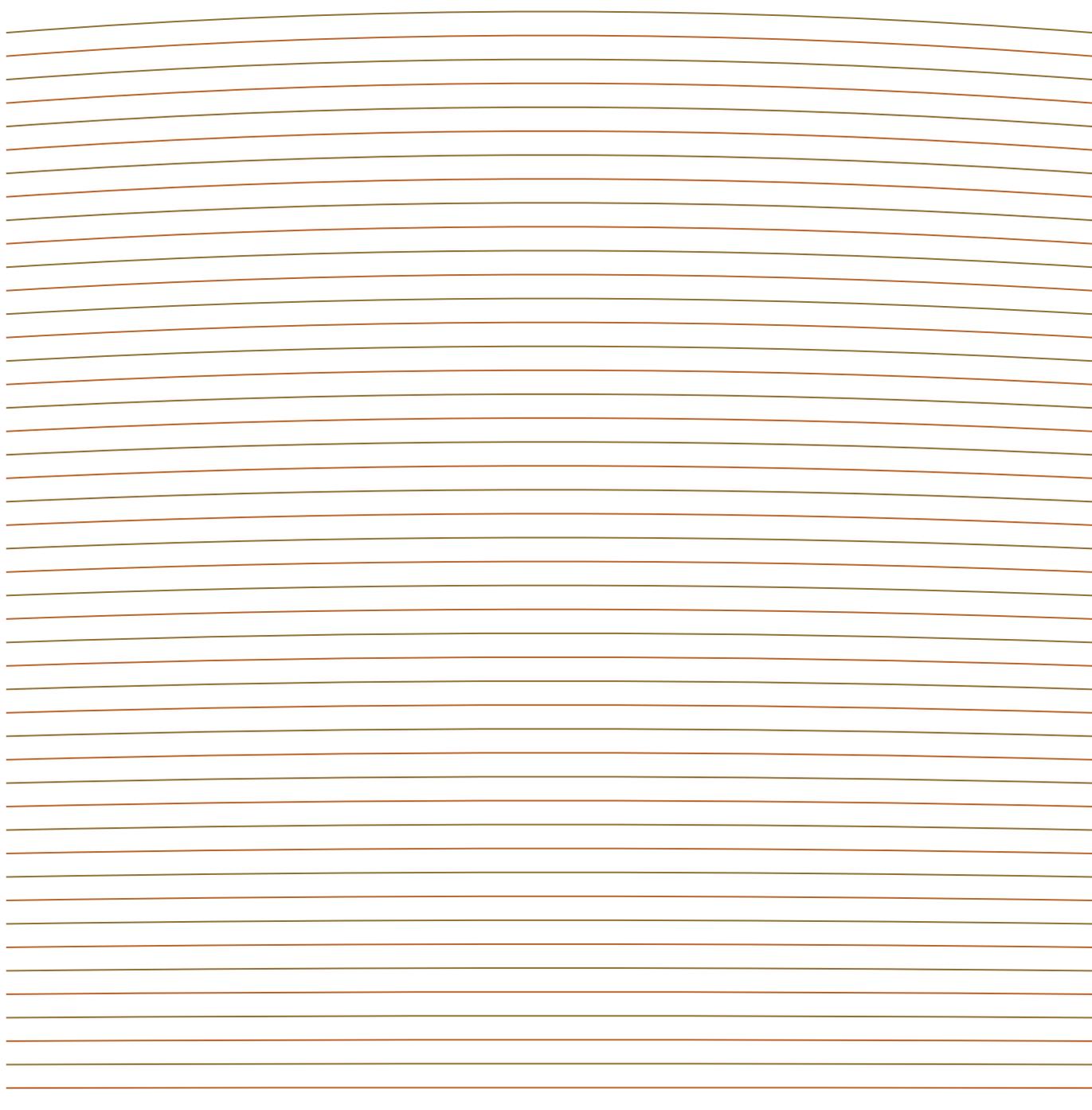


澄川喜一
寄贈作品集



澄川喜一

寄贈作品集



ごあいさつ

このたび、鳥根県立石見美術館では、「澄川喜一寄贈作品集」を刊行する運びとなりました。本書は、2020(令和2)年度、および21年度、彫刻家・澄川喜一より寄贈を受けた120点の彫刻作品と、作家・作品に関する資料の一覧を主とし、年譜と野外彫刻・環境造形・記念碑所在一覧を加え、その長年の活動業績をまとめたものです。

澄川喜一は、1931(昭和6)年、鳥根県鹿足郡六日市町(現・吉賀町)に生まれました。全国各地で約100点もの野外彫刻を手がけたほか、東京スカイツリー®のデザイン監修をはじめとする、都市部の建築分野のデザインや環境造形の仕事を担い、高い評価を受けてきました。また、母校・東京藝術大学では教授および学長を務め、首都圏で精力的な活動を続けるなか、故郷である鳥根県や、青春時代を過ごした山口県でも文化行政の要職を担ってきました。当館でも2022(令和4)年6月まで、開館後17年の長きにわたって鳥根県芸術文化センター長(兼 鳥根県立石見美術館長)を務め、石見地域の芸術振興に力を尽くしました。こうした数多くの功績が表彰され、2020(令和2)年には文化勲章を受章しています。

本書は、今後、これらを当館のコレクションとして活用していくにあたり、作品と資料の調査と整理を行い、現時点で判明している事柄や、基本情報を記録することを目的に刊行いたしました。作家の「作品や資料を故郷・鳥根県にまとめて寄贈し、展示に活用してもらいたい」という想いを軸に、本書が今後さらに研究を深める一助になることを願っております。

最後となりましたが、本書の刊行にあたり、ご協力、ご尽力くださいました全ての皆様に感謝申し上げます。

2023年3月

鳥根県立石見美術館



K. Sumikawa

目次

6	主な寄贈作品
12	主な野外彫刻作品
17	澄川喜一 寄贈作品一覧
38	作家・作品に関する資料
46	年譜
62	野外彫刻・環境造形・記念碑所在一覧

凡例

- ・本書は2020(令和2)年度、および21(令和3)年度、澄川喜一より寄贈を受けた120点の彫刻作品と、作家・作品に関する資料の一覧を主とし、年譜と野外彫刻・環境造形・記念碑所在一覧を加え、その活動業績をまとめたものである。
- ・2022(令和4)年度以後の、澄川の作品や資料の収蔵情報については、下記HPの「刊行物」内「年報」や補遺などで、今後随時情報を更新していく。
<https://www.grandtoit.jp/museum/>
- ・写真図版(撮影・提供)
株式会社ケー・エス・アート 提供: p.2, 3
内海敏晴 撮影: p.14, p.15下
内海詔子 撮影: p.15上
杉本和樹(西大寺フォト)撮影: pp.18-37のうちS-5, S-7, S-9, S-13, S-42, S-46, S-47, S-54, S-55, S-56, S-68, S-74
山崎信一(株式会社 スタジオパッション)撮影: pp.6-13, p.16, pp.18-37(上記の作品番号以外)
- なお、上記や掲載各頁に記した以外で記載がないものは、島根県立石見美術館が所有するもの、または澄川が個人的に所有する写真、および、今回島根県に寄贈した資料に含まれていた写真である。個人的なスナップ写真や澄川が入手したと思われる写真のなかには、一部撮影者不明なものがあるが、いずれも古い記録写真であるため、調べは困難であった。澄川本人が長年所有したものであるという点を重視し、当時の様子を示す貴重な資料として掲載した。
- ・作品や資料は全て島根県立石見美術館の所蔵である。
- ・「澄川喜一 寄贈作品一覧」の作品番号「S-●」は、その整理過程において、澄川の作品と資料に付した番号である。原則として、ここでは制作年代順に配列しており、必ずしも作品番号順ではない。
- ・「東京スカイツリー[®]」の名称は、東武タワー スカイツリー株式会社等の著作権・商標権により保護されており、[®]表記を原則とした。

主な寄贈作品



S-1

S-110



S-1 S君 1959年 ブロンズ

S-110 観音菩薩立像 制作年不詳 木



S-4

S-12



S-4 SHIRUBE 1974年 樟
S-12 MASK 1985年 樟

- S-10 フェニックスの翼A 1982年 ブロンズ
S-21 そりのあるかたち 1996年 ブロンズ
S-34 風 2001年 黒御影石
S-40 太陽 2002年 赤御影石





S-34

S-40



S-21





S-60

S-113



S-60 木霊B 2008年 檜、樺

S-113 おろち 2021年 ステンレス



S-22 そりのあるかたち97-3 1997年 樺、一位、ステンレス



主な野外彫刻作品

山口県庁前庭《鷺舞の譜》 1984年（山口県山口市）



亀山公園噴水《うごく城》 1989年 (山口県山口市)



新宿モリスビル《TO THE SKY》
1990年（東京都新宿区）

大分空港《TO THE SKY》
1993年（大分県国東市）



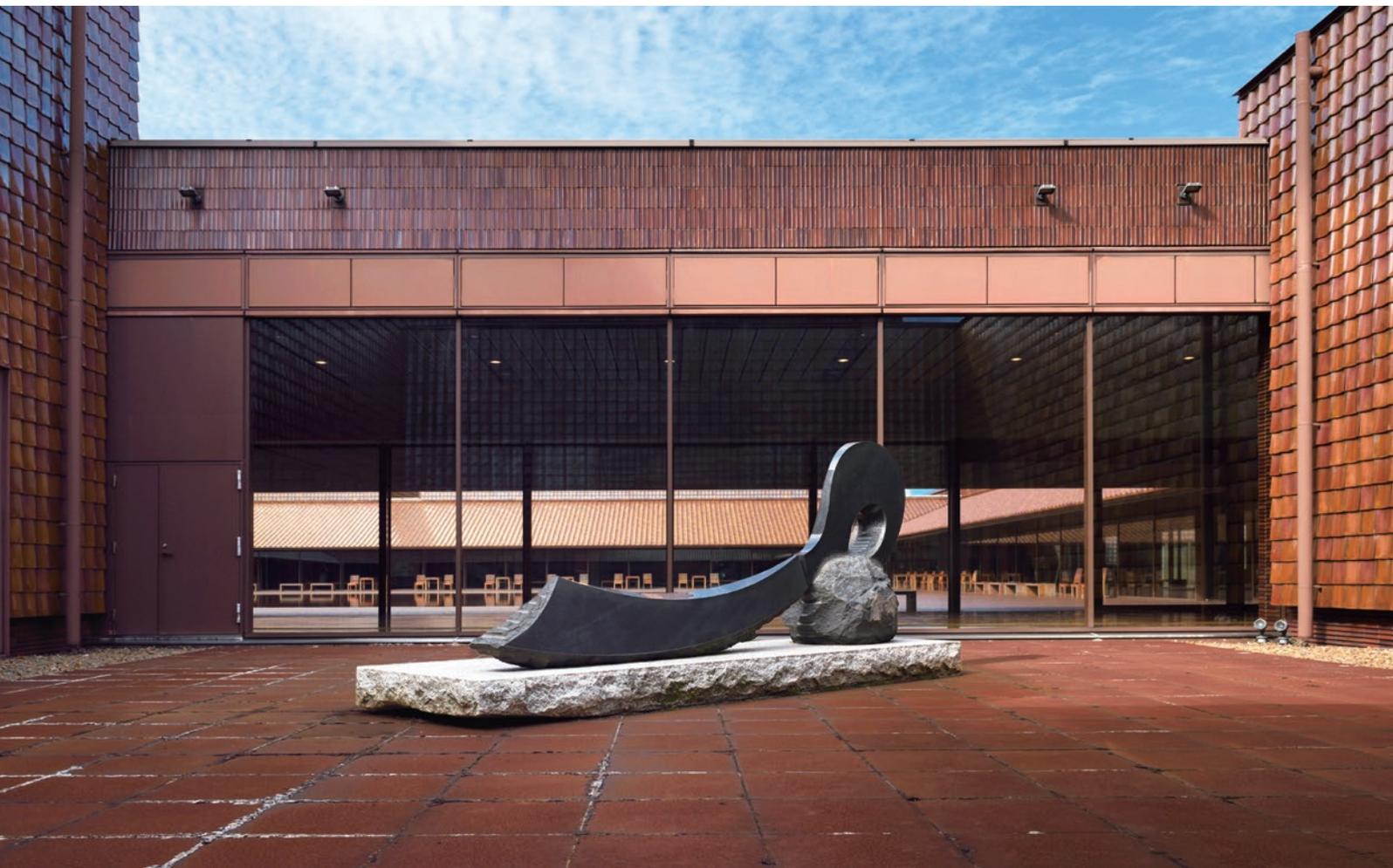
東京湾アクアライン海ほたる《カッターフェイス》
1997年（千葉県木更津市）





島根県芸術文化センター「グラントワ」《OROCHI》 2005年（島根県益田市）

島根県芸術文化センター「グラントワ」《OROCHI》 2001年（島根県益田市）



澄川喜一
寄贈作品一覧

凡例

通し番号

作品番号 (S・●)

作品名

制作年/材質/サイズ(高さ×横幅×奥行)cm

備考 出品歴は、初出となる新制作展のみを記載した。



1 | S-2

裸婦

1958年頃／ブロンズ／46×11×11.5



2 | S-1

S君

1959年／ブロンズ／33×20×27

第23回新制作展出品
出品当初の題名は《篠崎君》



3 | S-3

Kさん

1960年／ブロンズ／36×23×36

第24回新制作展出品
出品当初の題名は《首K》



4 | S-4

SHIRUBE

1974年／樟／146.5×64×58

第38回新制作展出品
出品当初の題名は《MASK-49》



5 | S-5

マジック・ボックス

1975年／御影石、樺、杉／63×28.3×15



6 | S-6

無題(スポーツ功労者顕彰記念像)

1978年／ブロンズ／51×13×15



7 | S-7

そりのあるかたち

1979年／櫟、カラントス／127.5 × 74.5 × 16



8 | S-8

種

1982年／櫟、樟／33 × 23 × 8.5



9 | S-9

MASK

1982年／樟、カラントス／60.5 × 42 × 35



10 | S-10

フェニックスの翼 A

1982年／ブロンズ／165 × 56 × 30



11 | S-11

そりとそぎのあるかたち 83

1983年／櫟、松／240 × 160 × 105

第47回新制作展出品
出品当初の題名は《そりとそぎのあるかたち'83》



12 | S-12

MASK

1985年／樟／41 × 42.5 × 27



13 | S-13

そりのあるかたち
1985年／樺／77 × 87 × 23



14 | S-14

そりのあるかたち 86
1986年／松、樺、鉄板／300 × 90 × 90
第50回新制作展出品
出品当初の題名は《そりのあるかたち'86》



15 | S-15

そりのあるかたち-D
1987年／樺、松、鉄板／233 × 325 × 30



16 | S-16

TO THE SKY C
1992年／ステンレス、黒御影石／230 × 65 × 38
小ホール楽屋中庭に設置



17 | S-18

お月さま
1995年／樺、チーク／236 × 139 × 35



18 | S-17

そりのあるかたち 95
1995年／樺／240 × 62 × 57
第59回新制作展出品
出品当初の題名は《そりのあるかたち'95》



19 | S-19

そりのあるかたち

1995年／黒御影石、金箔／16×70×22



20 | S-20

ほしあかり

1995年／黒御影石、金箔／82×32×24

大ホール楽屋中庭に設置



21 | S-21

そりのあるかたち

1996年／ブロンズ／83.5×114.5×10.8



22 | S-22

そりのあるかたち 97-3

1997年／樺、一位、ステンレス／205×200×37



23 | S-23

木滴

1998年／杉、槐／36×26×17



24 | S-119

そりのあるかたち

1998年／樺、鉄板／203×200×50



25 | S-24

そりのあるかたち4

1999年/櫟/236×54×37



26 | S-25

翼3

1999年/櫟、樟/42×68×17



27 | S-26

そりのあるかたち99

1999年/櫟/278×159×70

第63回新制作展出品
出品当初の題名は《そりのあるかたち'99》



28 | S-27

そりのあるかたち3

1999年/櫟、黒壇/118×10×9



29 | S-28

そりのあるかたち5

1999年/櫟/124.5×38×15



30 | S-29

そりのあるかたち7

1999年/櫟/71×60×11



31 | S-30
そりのあるかたち A
1999年／櫟、カラントス／205 × 230 × 53



32 | S-31
そりのあるかたち B
1999年／櫟／93.5 × 112 × 13.5



33 | S-32
そりのあるかたち 2000
2000年／櫟、チーク、鉄板／268 × 97 × 70
第64回新制作展出品
出品当初の題名は《そりのあるかたち 2000》



34 | S-33
そりのあるかたち 01-2
2001年／櫟、松、チーク、鉄板／345 × 120 × 80



35 | S-34
風
2001年／黒御影石／150 × 26.8 × 41
応接室中庭に設置



36 | S-35
そりのあるかたち 01-1
2001年／櫟、チーク、松、鉄板／310 × 130 × 30
第65回新制作展出品
出品当初の題名は《そりのあるかたち、2001》



37 | S-36

そりのあるかたち 02-4

2002年／松／232 × 93 × 27.5



38 | S-37

そりのあるかたち 02-1

2002年／樺、鉄板／205 × 193 × 60



39 | S-39

そりのあるかたち G

2002年／樺／99 × 19 × 31.5



40 | S-38

そりのあるかたち 02-3

2002年／樺、檜、ステンレス／280 × 116 × 41



41 | S-40

太陽

2002年／赤御影石／46 × 28 × 19



42 | S-41

そりのあるかたち 03

2003年／樺、檜、ステンレス／310 × 90 × 90

第67回新制作展出品
出品当初の題名は《そりのあるかたち-03》



43 | S-42

そりのあるかたち 04

2004年 / 樺、ステンレス / 250 × 180 × 90

第68回新制作展出品
出品当初の題名は《そりのあるかたち》



44 | S-43

そりのあるかたち

2004年 / 神代樺、樺、ステンレス / 88 × 82 × 19



45 | S-44

そりのあるかたち d

2005年 / ステンレス / 78 × 87 × 17



46 | S-45

翔 II

2005年 / 神代樺 / 43 × 61 × 35



47 | S-46

瀧

2005年 / 杉、樺 / 122 × 19 × 10



48 | S-47

そりのあるかたち 05

2005年 / 神代樺、樺、檜 / 240 × 172 × 42

第69回新制作展出品
出品当初の題名は《そりのあるかたち 05》



49 | S-48

そりのあるかたち 06

2006年／神代樺、樺、ステンレス／197×180×70

第70回新制作展出品

出品当初の題名は《そりのあるかたち'06》



50 | S-49

そりのあるかたち

2007年／樺、檜／102×30×20



51 | S-50

木霊 A

2007年／檜、樟／127×31×30



52 | S-51

そりのあるかたち

2007年／神代樺、樺／211×65×27



53 | S-52

そりのあるかたち O

2007年／神代樺、樺／90.5×10.5×10.2



54 | S-53

そりのあるかたち

2007年／樺、杉／208×205×46

第71回新制作展出品

出品当初の題名は《そりのあるかたち'07》



55 | S-54

木霊

2007年／檜、樺／170×24×24



56 | S-55

木の華

2007年／杉、樺、カラントス／88×28×24.5



57 | S-56

MASK

2007年／チーク、樺／56×21×15.8



58 | S-57

そりのあるかたち 15

2007年／栗、槐、樫、樺／97.5×24×14.5



59 | S-58

そりのあるかたち 18

2007年／樺／113×13×10.5



60 | S-59

そりのあるかたち A

2008年／樺／137×30×22



61 | S-60
木霊 B
2008年／檜、樺／112 × 30 × 18



62 | S-61
そりのあるかたち 2008
2008年／神代樺、樺、檜／190 × 162 × 52



63 | S-62
そりのあるかたち N
2008年／栗、樺、槐／44 × 79 × 12



64 | S-72
翔 A
2008年／神代樺、ステンレス／137 × 70 × 40



65 | S-63
そりのあるかたち 2009
2009年／神代樺、樺／228 × 118 × 53
第73回新制作展出品
出品当初の題名は《そりのあるかたち. 2009》



66 | S-64
矢羽根 I
2010年／神代樺、樺／219 × 55.5 × 26.3



67 | S-65

そりのあるかたち 2010

2010年／櫟／212.5 × 167 × 39

第74回新制作展出品

出品当初の題名は《そりのあるかたち、2010》



68 | S-66

そりのあるかたち a

2010年／櫟／179 × 161.5 × 38.5



69 | S-67

そりのあるかたち f

2010年／櫟／107 × 106 × 29



70 | S-127

そりのあるかたち

2010年／杉、櫟／212 × 33 × 31



71 | S-68

そりのあるかたち A

2011年／櫟／213 × 129 × 30



72 | S-69

TOWER

2012年／櫟／111 × 21 × 22



73 | S-70

そりのあるかたち C

2012年／神代櫨／156.5 × 34.5 × 27.5



74 | S-71

そりのあるかたち D

2012年／神代櫨、櫨／179 × 111 × 37.5



75 | S-73

そりのあるかたち F

2012年／櫨、桂／43 × 129 × 15.5



76 | S-74

そりのあるかたち B

2012年／櫨／227 × 52.5 × 38



77 | S-75

そりのあるかたち 2012

2012年／櫨／233.5 × 100 × 54

第76回新制作展出品
出品当初の題名は《そりのあるかたち 2012》



78 | S-112

そりのあるかたち

2012年／神代櫨、杉／160 × 47 × 27.5



79 | S-76

そりのあるかたち

2013年／櫟／84 × 15 × 14.5



80 | S-77

TO THE SKY III

2015年／櫟／65.5 × 15 × 11



81 | S-78

そりのあるかたち

2015年／黒壇、櫟／30.5 × 10.5 × 5.5



82 | S-80

そりのあるかたち f

2015年／白檀、櫟／7.5 × 44 × 8.5



83 | S-81

そりのあるかたち

2015年／神代櫟、櫟／26 × 44.5 × 8



84 | S-79

そりのあるかたち n

2015年／ローズウッド、櫟／32 × 12.2 × 10



85 | S-82

そりのあるかたち

2017年／樺／216×58×45.5

第81回新制作展に出品
出品当初の題名は《そりのあるかたち、2017》



86 | S-83

そりのあるかたち

2018年／杉／215×85×50

第82回新制作展に出品
出品当初の題名は《そりのあるかたち、2018》



87 | S-106

門

2018年／樟、樺、杉／79×30×20



88 | S-104

TO THE SKY

2019年／樺／75.5×24×12.2



89 | S-84

そりのあるかたち

2019年／槐、樺、神代樺／210×48.5×38

第83回新制作展に出品
出品当初の題名は《そりのあるかたち、2019》



90 | S-85

そりのあるかたち

2019年／樺／48×19×7.5



91 | S-86

そりのあるかたち

2019年／樟／47 × 18 × 9.5



92 | S-87

そりのあるかたち

2019年／櫟／26.5 × 52 × 11



93 | S-88

そりのあるかたち

2019年／櫟、カラントス／210 × 64 × 50



94 | S-89

そりのあるかたち

2019年／槐／199 × 70 × 32.5



95 | S-120

扉

2020年／櫟／41 × 48 × 10.5



96 | S-121

そりのあるかたち

2020年／櫟／55.5 × 48 × 12.5



97 | S-123

しかくいかお

2020年/樺/13.5 × 14.3 × 10.2



98 | S-109

フェニックスの翼

(第39回「2020年日経優秀製品・サービス賞」の記念ブロンズ像)

2020年/ブロンズ/50 × 8 × 8



99 | S-111

そりのあるかたち

2021年/樺、杉、鉄板/251 × 30.5 × 26.5



100 | S-114

そりのあるかたち

2021年/樺/12.7 × 85 × 10



101 | S-115

そりのあるかたち

2021年/白檀、樺/15.5 × 42 × 13.5



102 | S-116

そりのあるかたち b

2021年/杉/164.5 × 37 × 20



103 | S-118
そりのあるかたち f
2021年 / 神代櫨 / 108.5 × 40.5 × 29



104 | S-113
おろち
2021年 / ステンレス / 27.5 × 33 × 10



105 | S-117
らふ
2021年 / 櫨 / 31.5 × 6 × 6



106 | S-90
そりのあるかたち Y
不詳 / 櫨 / 117 × 25 × 24



107 | S-91
SKULL
不詳 / カラントス / 全4パーツ (1: 86 × 30 × 40
2: 86 × 16 × 23 3: 85.3 × 20 × 24 4: 76.3 × 27 × 40)



108 | S-92
そりのあるかたち
不詳 / 櫨、カラントス / 63 × 21 × 57



109 | S-94

そりのあるかたち

不詳／樺、松／202 × 168 × 33



110 | S-95

そりのあるかたち

不詳／樺、杉／67 × 125 × 32



111 | S-103

MASK

不詳／金属／35 × 28 × 15



112 | S-105

そりのあるかたち

不詳／金属／15.5 × 26.5 × 5.3



113 | S-107

トロフィー

不詳／金属／42 × 8 × 8



114 | S-108

トロフィー

不詳／金属／33.5 × 6.5 × 5



115 | S-110
観音菩薩立像
不詳/木/9.5×3.3×1.2



116 | S-122
宝舟
不詳(2019年か)/樺、杉/81×23×8



117 | S-124
翼
不詳/木/71×47×6



118 | S-125
おろち
不詳/ステンレス/40×28×9



119 | S-126
MASK
不詳/カラントス/52×30×20



120 | S-93
そりのあるかたち
不詳(初期)/樺/102×21.5×34

作家・作品に関する資料

通し 番号	No.	寄贈 年度	資料名	制作年	技法・素材	寸法(高さ×幅×奥行)cm	員数	備考
1	S-96	R2	ブロンズ像の石膏原型	不詳	石膏	裸婦(横座り): 37×15×17/ 裸婦(立像): 55×14×18/ 裸婦(腕組み): 31×22.5×25	3	初期の裸婦像の原型。タイトル や制作年など詳細は不明
2	S-97	R2	《Kさん》の石膏原型	1960年	石膏	ベース込み 52×25×40 顔のみ 37×25×40	1	S-3《Kさん》の石膏原型
3	S-98	R2	噴水《うごく城》(山口県山口 市・亀山公園)モニュメント の石膏原型	1989年頃	石膏	115×38×66	1	
4	S-99	R2	《金波・銀波》(横浜みなとみらい 線馬車道駅)のマケット	2004年頃	ステンレス、 金箔	100×70×25	1	
5	S-100	R2	肖像彫刻の石膏原型	不詳	石膏	肖像1: 66×45×32/ 肖像2: 60×44×38/ 肖像3: 48×32×25/ 肖像4: 62×39×28	4	依頼により請け負った肖像彫 刻の原型の一部。モデルは明ら かでない
6	S-101	R2	《TO THE SKY》(大分空港) のマケット	1993年	金属	114×48×48	1	
7	S-102	R2	作家・作品に関する資料 (R2年度寄贈分)				一式	スケッチブック、原稿、メモ、モ ニュメントスケッチなど
8	S-128	R3	エミリオ・グレコ作 裸婦像 (澄川喜一収集作品)	不詳	ブロンズ	58×12×21	1	澄川喜一が収集した作品
9	S-129	R3	白井雨山作 獅子舞 (澄川喜一収集作品)	不詳	木	19×8.5×11	1	澄川喜一が収集した作品
10	S-130	R3	マケット	不詳	発泡スチロール	44.5×7×7	1	《TO THE SKY》(OKBふれあい 会館・岐阜県)のマケットか
11	S-131	R3	マケット	不詳	発泡スチロール	36.5×10×9.5	1	何のモニュメントのマケット案 か不明
12	S-132	R3	《TO THE SKY》(新宿モノ リスビル)のマケット	1990年	木	51.5×15.5×15.5	1	
13	S-133	R3	《扇》(岡山県井原鉄道井原 駅)のマケット	1998年	発泡スチロール	13×23×13	1	
14	S-134	R3	マケット	不詳	発泡スチロール	40×10×12	1	何のモニュメントのマケット案 か不明
15	S-135	R3	《光る風》(JR 釧路駅)の マケット	1987年	金属	29×56×14	1	
16	S-136	R3	マケット	不詳	発泡スチロール	38×10×10	1	何のモニュメントのマケット案 か不明
17	S-137	R3	《TO THE SKY》(シンフォニア 岩国・山口県)のマケット	1996年頃	発泡スチロール	右: 45×7×7 左: 45×7×7.5	1組	

通し 番号	No.	寄贈 年度	資料名	制作年	技法・素材	寸法(高さ×幅×奥行) cm	員数	備考
18	S-138	R3	《TO THE SKY》(NTTドコモ 代々木ビル)のマケット	2000年	金属	14×13×6.5	1	
19	S-139	R3	鴨池橋竣工記念 横浜鴨池 橋モニュメントの模型	1991年	金属	42.5×19×16.5	1	
20	S-140	R3	《おろち》の原型	不詳	石膏	26×27×12	1	
21	S-141	R3	裸婦像	1955年	テラコッタ	15.8×13.5×9	1	
22	S-142	R3	少女頭部	不詳	テラコッタ	17×11×18	1	
23	S-143	R3	裸婦像	不詳	テラコッタ	20.5×12×15	1	
24	S-144	R3	裸婦像の石膏原型	不詳	石膏	41×14×14	1	裸婦像の原型。タイトルや制作 年など詳細は不明
25	S-145	R3	シールドマシン、カッター ビット(澄川喜一作品資料)	1997年	金属	12×19.5×15	1	東京湾横断道路(東京湾アクア ライン)中央トンネル川人北工 区工事貫通記念で配布された 実物のカッタービットで、澄川 が所持していたもの。トンネル 部分が貫通したのは1996年、ア クアラインが開通したのは 1997年。澄川は1997年、東京湾 アクアラインの開通を記念し 《カッターフェイス》と名付けた モニュメントを制作、実物の カッタービットを取り付け、東 京湾アクアラインの海ほたるに 設置した
26	S-146	R3	《日・月》/《清瀬の流れ》(清瀬 けやきホール)下絵	2010年	紙・額装	いずれも縦52×横36 (額寸: 58×43×4.5)	2	
27	S-147	R3	《TO THE SKY》(とうきょう スカイツリー駅)下絵	2012年	紙・額装	縦31×横97 (額寸: 31×97×2)	1	《TO THE SKY》(とうきょうス カイツリー駅)に設置されている 陶板レリーフの作品)の下絵
28	S-148	R3	《フェニックスの翼》 (茶碗1・湯呑2)	不詳	陶器	高さ: 10	3	茶碗と湯呑の絵付は《フェニッ クスの翼》を題材にしたもの
29	S-149	R3	墨壺 (澄川喜一収集資料)	不詳	木	長さ: 8.5~35	19	澄川喜一が収集した墨壺コレ クション
30	S-150	R3	アフリカの仮面 (澄川喜一収集資料)	不詳	木	26.5×19×14	1	澄川喜一が収集したアフリカ の仮面(ドゴン族)
31	S-151	R3	アフリカの太鼓 (澄川喜一収集資料)	不詳	木	66×22×21	1	澄川喜一が収集したアフリカ の太鼓(ドゴン族)
32	S-152	R3	アフリカの仮面(タンザニア) (澄川喜一収集資料)	不詳	木	30×14×6	1	澄川喜一氏が収集したアフリ カの仮面
33	S-153	R3	作家・作品に関する資料 (スケッチブック)					一式
34	S-154	R3	作家・作品に関する資料 (原稿・メモ)					一式
35	S-155	R3	作家・作品に関する資料 (スクラップブック)					一式
36	S-156	R3	作家・作品に関する資料 (モニュメントスケッチ)					一式

「一式」資料 (S-102、およびS-153～156) について

「作家・作品に関する資料」(p.38, 39)のうち、資料No. S-102は2020(R2)年度、S-153～156は2021(R3)年度にそれぞれ未整理の一式資料として、作家より受贈したものである。新旧混合で数が非常に多く、中身は多岐に渡る。澄川は古い資料も破棄することなく、これらを長年アトリエや自宅で大切に保管してきた。寄贈を受けて、的野克之がこれらを調査したところ、スケッチブック約270冊のほか、原稿やメモ、スクラップブック、新聞切り抜き、モニュメントのスケッチ、下絵やイメージ図、図面、写真(出品当時の作品写真や記録写真)、DMや目録、パンフレット、大学時代の講義ノート、新聞に連載していた1コマ漫画、ロゴやマークのデザイン案などがあった。なかでも1コマ漫画は「朝香清」のペンネームで新聞に連載した政治漫画で、澄川が掲載された絵を切り抜き、スクラップブックにして保管していたもので、あまり知られていない若い頃の仕事の一端をうかがわせる。これら一式資料のなかには、種類分けや明確な表記が困難なものが数多くあるため、本書には内訳の詳細を載せないが、作家の制作過程を知る上で、大変貴重な資料である。ここでは一部を写真で紹介する。



《スケッチブックより(人物デッサン)》 制作年不詳

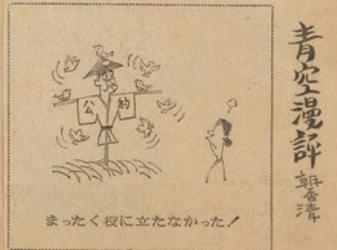
S 43年号



青空漫評 朝香清

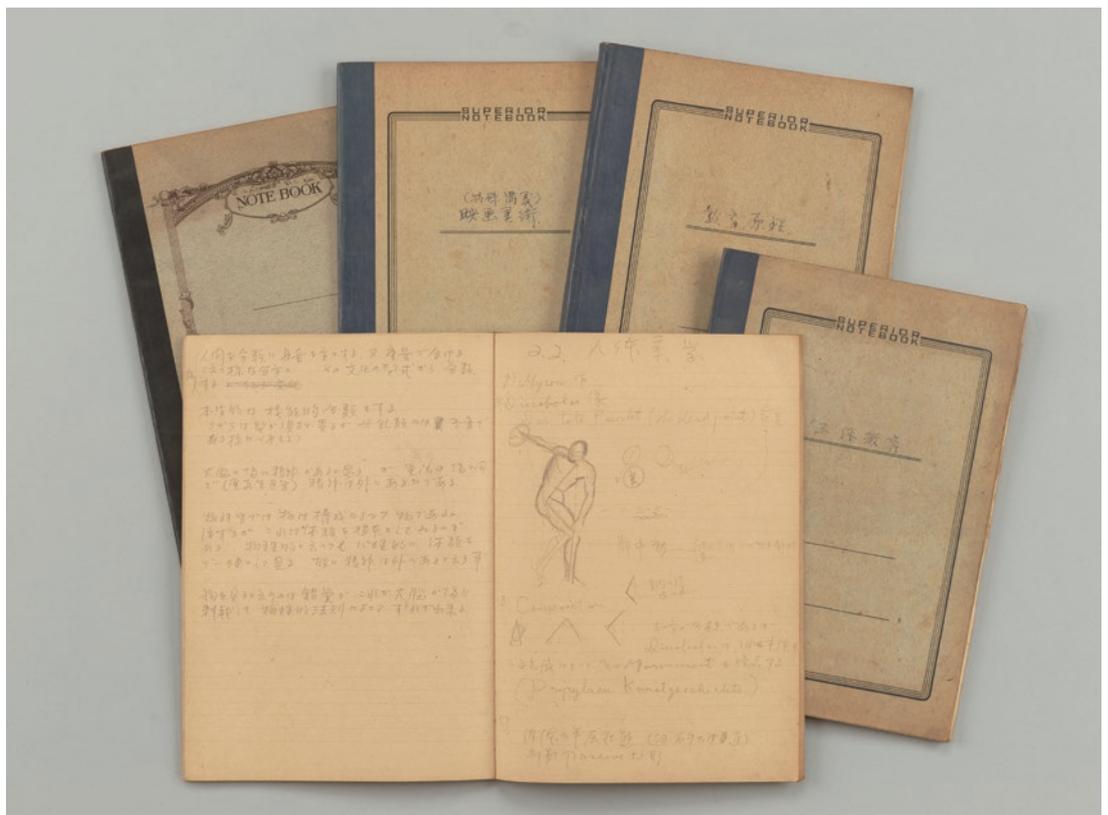


青空漫評 朝香清

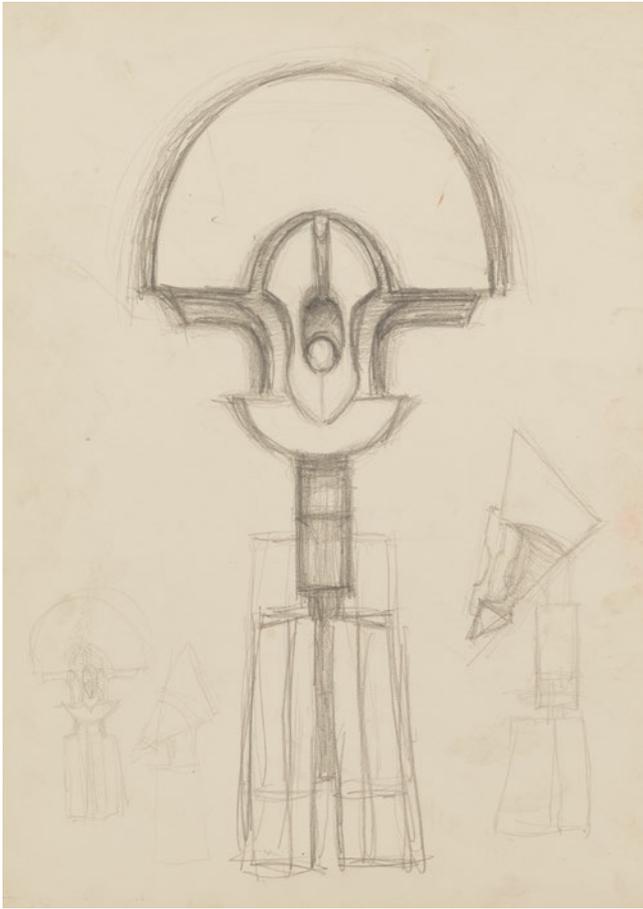


青空漫評 朝香清

朝香清(澄川喜一のペンネーム)「青空漫評」
(新聞に連載していた1コマ漫画を切り抜いたスクラップブック)
1968～1972年頃(連載期間は不詳)



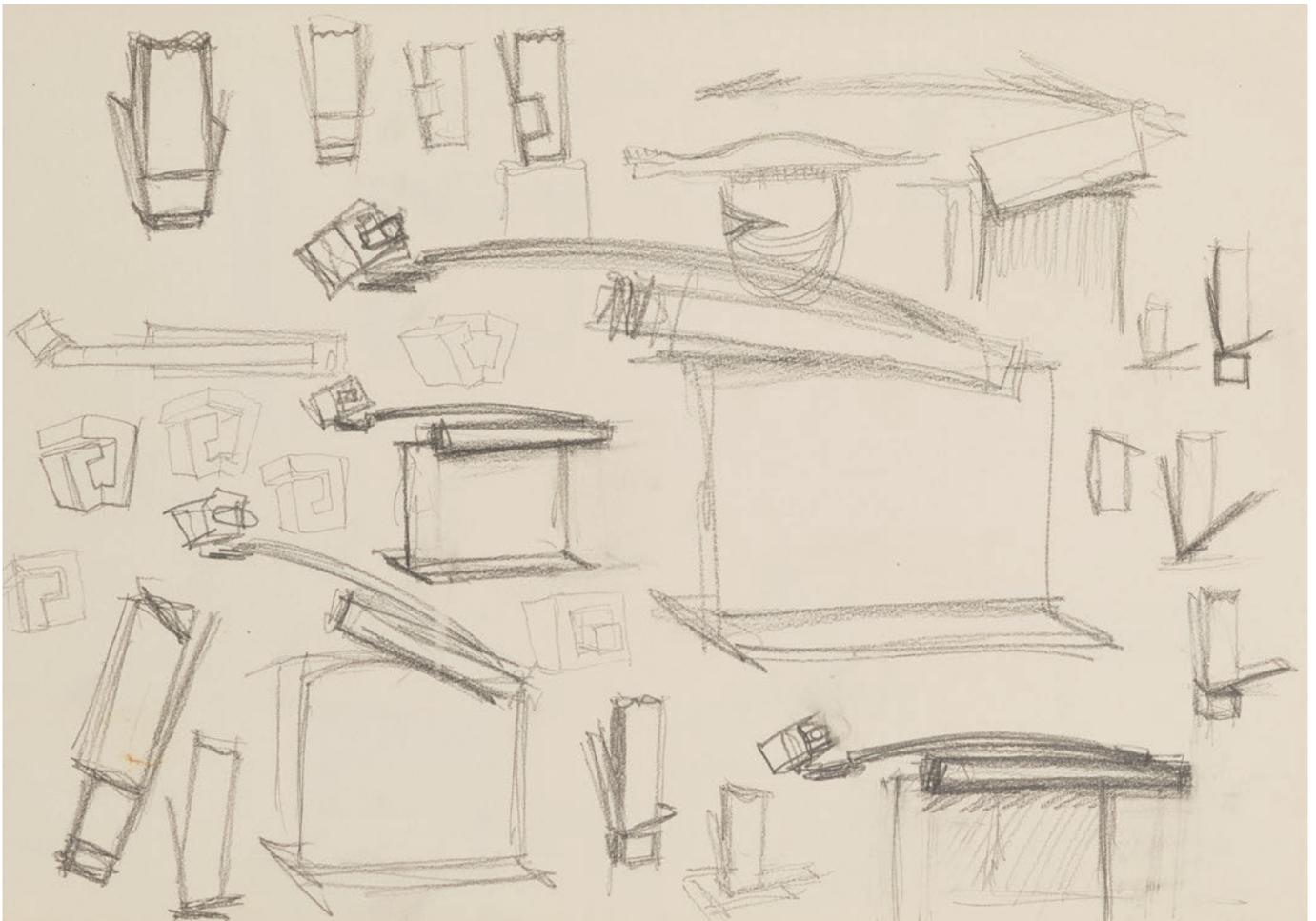
《東京藝術大学学生時代の講義ノート》 1952年～1958年頃



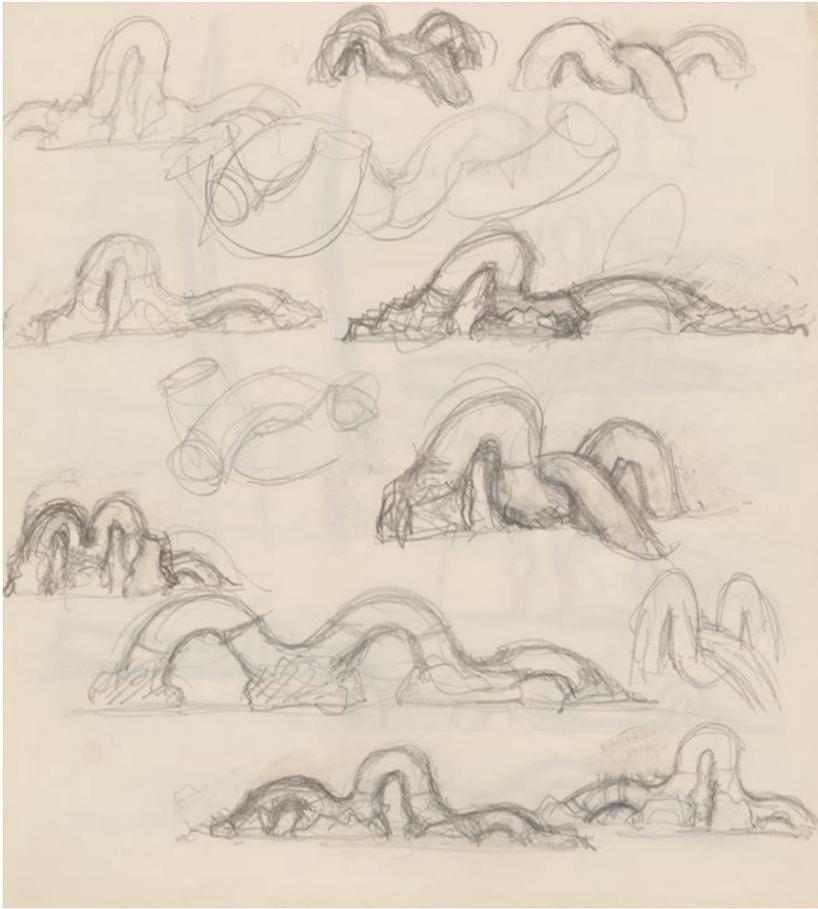
《スケッチブックより((MASK-AH)
[宇部市 緑と花と彫刻の博物館所蔵]のスケッチ案)》 1968年頃



《スケッチブックより((MASK)のスケッチ案)》 制作年不詳



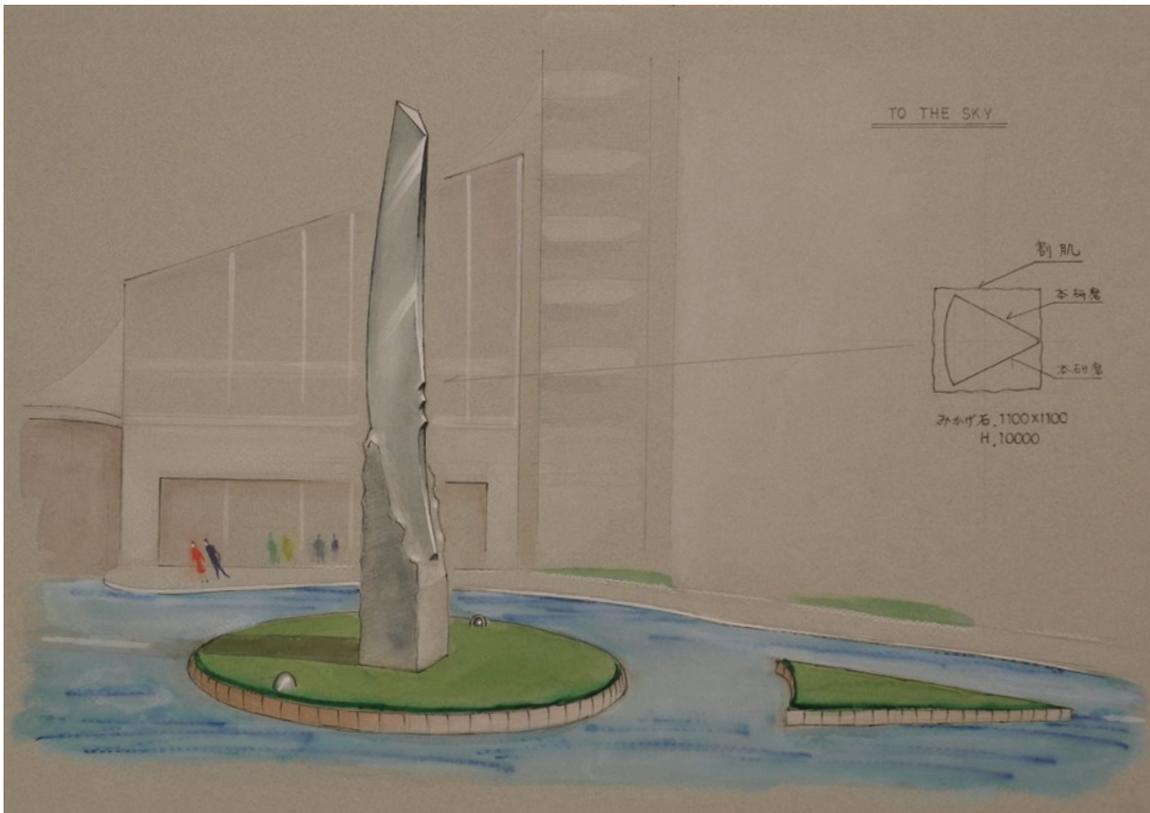
《スケッチブックより((そりのあるかたち)のスケッチ案)》 制作年不詳



《スケッチブックより(「OROCHI」[島根県芸術文化センター]のスケッチ案)》 2005年頃



《スケッチブックより(トロフィーのスケッチ案)》 制作年不詳



《下絵より(〈TO THE SKY〉[不詳]の構想)》 制作年不詳



《下絵より(〈フェニックスの翼〉現在の名称〈WINGS OF PHOENIX〉[南部斎場・神奈川県横浜市]の構想)》 1991年頃



《下絵より(「OROCHI」[鳥根県芸術文化センター]の構想)》 2005年頃



《下絵より(「およりんさんせ」[澄川喜一記念公園 彫刻の道・鳥根県吉賀町]の構想)》 2000年頃

澄川喜一 年譜

左近充直美、的野克之[編]

- 凡例
- ・本年譜の編集にあたっては、帯刀奈緒、左近充直美[編]「澄川喜一年譜」『企画展 澄川喜一 シンプル・イズ・ビューティフル』図録(2015年 島根県立石見美術館)に基づき、澄川本人や株式会社ケー・エス・アートから提供された情報、および「彫刻家 澄川喜一ホームページ」(<http://www.sumikawa-art.com/>)を参考に加筆修正を行った。また、的野克之がこのたび寄贈を受けた「作家・作品に関する資料一式」や新制作展の出品記録他の調査を行い、新たに判明した事柄も年譜に反映した。
 - ・挿図写真について、撮影者や提供者の記載がないものは、澄川本人が個人で所有する写真や、「作家・作品に関する資料一式」のなかに含まれる写真となる。また島根県立石見美術館が撮影・所有する写真も掲載したが、撮影者が判明しているものだけに限り名前を記した。
 - ・作品のタイトルについては、可能な限り出品時の表記を心がけたが、出品のたびに表記が変わる作品も多々あり、その後の改題が判明しているもののみ、そのことを記した。

西暦	和暦	年齢	事項	
1931	昭和6	0歳	5月2日、島根県鹿足郡六日市町(現・吉賀町)に、父・瀧男、母・小波の長男として生まれる。喜一の戸籍上のよみは「よしかず」。「きいち」は幼少期からの愛称で、以来、作家名は「きいち」と称する。父は農業や清流・高津川を活用したワサビ栽培の傍ら、集落にあった上社、下社の宮守をしていた。石州瓦と茅葺きの家並みが続く集落で自然に囲まれ、上社の河内神社で神楽を見て育つ。	
1938	昭和13	7歳	4月、六日市尋常高等小学校(現・吉賀町立六日市小学校)に入学。1年生の担任、竹下藤枝先生に書道を習い、墨の濃淡を生かす水墨画などの指導を受ける。学校対抗の絵やポスターのコンクールなどで一等賞をとるなど、絵が得意だったことから竹下先生に「上手だ」と褒められ、芸術の道に憧れを抱く。	8歳のころ、浜田の連隊に従兄を慰問
1945	昭和20	14歳	3月、六日市尋常高等小学校を卒業。津和野中学(現・津和野高校)を受験するが、戦時下で「絵描きになりたい」と言って不合格になる。ものづくりがしたいと山口県立岩国工業学校(現・山口県立岩国工業高等学校/当時5年制)の機械科を受験して合格。4月に入学。しかし戦況悪化により入学してすぐ勤労奉仕として、道路工事や飛行場の整備に動員される。 8月6日の広島原爆投下に続き、8月14日の岩国駅を中心とした大空襲、従兄の戦死や親類の死など、死を身近に感じる日々を送りながら、8月15日の終戦を迎える。 9月、岩国の錦帯橋の魅力に目覚める。下宿先から橋まで通い、毎日のように写生を重ね、橋の構造や特性を研究するなど、のめり込む。また、工業学校では、東京藝術大学出身の美術教師・国光与先生の勧めで運慶・快慶を知る。書物で調べるうちに奈良の法隆寺や山口の瑠璃光寺の五重塔など、伝統的な木造建築に惹かれ、木で五重塔の模型を作ることに熱中する。	
1946	昭和21	15歳	2年生の時、西岩国の映画館、えびす館の名称変更にもなうマークデザインの公募に応募し、一等賞をとる。これを機に映画の看板を描く仕事の依頼がくるようになり、当時の人気映画俳優の顔などを1〜2週間に一度のペースで描き、給料の代わりに油絵の道具をもらう。学校では美術部を創部して部長を務め、岩国市の美術展に油彩画を出品するなど、旺盛な創作活動を行う。	 岩国工高2年生の時に描いたマリリン・モンロー
				

西暦	和暦	年齢	事項
1947	昭和22	16歳	3年生の秋、京都・奈良への修学旅行で法隆寺や、東大寺の南大門や運慶・快慶の仁王像を見て感動する。画家になりたいと思っていたが、彫刻家に気持ちが傾く。
1950	昭和25	19歳	6月、朝鮮戦争始まる。岩国基地から連日、戦闘機や爆撃機が飛び立つのを見る。 9月、キジア台風が岩国に襲来。9月14日に錦帯橋が流失する。増水し濁流となった錦川に、不落の名橋と言われた錦帯橋が落ちる瞬間を見て、衝撃を受ける。また大水がひいた翌日、木と石の塊となった大橋の残骸を見て、最期を迎えた橋が一転、現代美術に転生したかのような迫力の造形力に圧倒される。この経験により、絵画よりも彫刻に進む決意を固める。
1951	昭和26	20歳	3月、山口県立岩国工業学校卒業。卒業の半年前、東京藝術大学の受験を両親に願ひ出すが認められず、卒業後、一時地元の製紙会社に就職。しかし芸術の道を諦められず退職して父を説得。受験は一度だけという条件で許しを得て上京。 9月、東京練馬の3畳間に下宿し、絵の予備校に通う。東京藝術大学の彫刻科を受験し、デッサンが得意だったこともあり、一発で合格する。
1952	昭和27	21歳	4月、東京藝術大学彫刻科に入学。平櫛田中に学ぶ(平櫛はこの年退官)。次いで菊池一雄教室で主に塑造を学ぶ。 警視庁教育旬報の挿絵懸賞募集で一等となり、以後挿絵を担当。アルバイトとしては、ほかに新聞戯評の一コマ漫画などを描く。 5月1日、皇居前広場でデモ隊と警察官が衝突する「血のメーデー事件」勃発。デモ行進に巻き込まれ、事件を間近で目撃する。
1956	昭和31	25歳	3月、東京藝術大学彫刻科を卒業。同専攻科に進む。
1957	昭和32	26歳	7月6日、谷中の五重塔焼失を目撃する。 「弁慶がたくさん矢を全身にうけて仁王立ちのまま絶命したような印象を受けました(中略)細い材木は焼け落ちても太い柱は炭化して残り、倒れない。放火で下から燃えたから、炎も凄かった。巨大な護摩を焚いたようでした。」(『アートトップ』149号、芸術新聞社、1995年)
1958	昭和33	27歳	3月、東京藝術大学彫刻専攻科を修了。サロン・ド・プランタン賞を受賞。 4月、東京藝術大学彫刻科の副手となる。 9月、第22回新制作展(東京都美術館)に《坐像》《立像》を初出品。以後、新制作展には定期的に出品。



岩国工高3年イ組一同、前列右から4人目



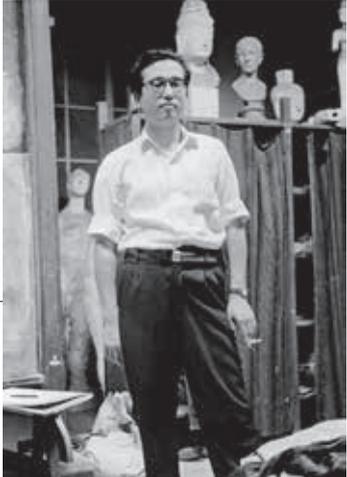
山口県立岩国工業学校卒業記念
1951年3月



《焼失した谷中五重塔のスケッチ》
(島根県立石見美術館蔵) 1957年頃
(2021年撮影・山崎信一)

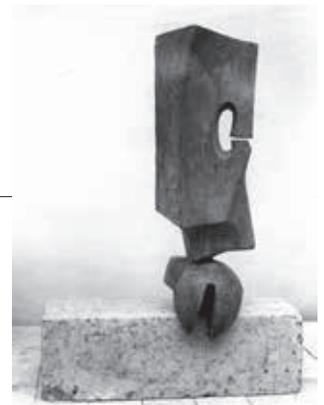


菊池一雄先生のアトリエにて、
中央が菊池一雄、後列左が澄川

西暦	和暦	年齢	事項
1959	昭和34	28歳	9月、第23回新制作展(東京都美術館)に《篠崎君》(後に《S君》に改題・島根県立石見美術館蔵)、《牛》を出品。新作家賞受賞。
			 <p>第23回新制作展会場にて</p>
			 <p>《牛》(第23回新制作展出品)</p>
1960	昭和35	29歳	この頃、人類学者・鈴木尚(当時東京大学教授)に請われて、古代人(縄文・弥生・古墳時代)の顔を復元する作業を手伝う。また、その過程で科学警察研究所に紹介され、科学警察研究所特別研究員として、身元不明の人骨の顔の復元を行う調査に携わる。9月、第24回新制作展(東京都美術館)に《たおれた男》《首K》(後に《Kさん》に改題・島根県立石見美術館蔵)《首A》を出品。新作家賞受賞。この頃から、日本の鎧やアフリカの仮面などを見て、細部の造作を再現する具象よりも、かたちが内包する本質を求める抽象に傾倒。これが後のMASKシリーズの構想へとつながる。
			 <p>東京藝大彫刻科副手時代</p>
1961	昭和36	30歳	師・菊池一雄の「彫刻家はアトリエを持つべき」との進言から、東京藝術大学彫刻科の副手を辞任。父からの仕送りの援助もあり、東京都清瀬市内にアトリエを構える。この頃、結婚するが、独立してしばらくは彫刻の仕事依頼はなく、記念品の製作や、寺院の扁額の製作など、来る注文を手当たり次第にこなし生計をたてる日々が続く。一方制作面では「これからは木彫をやる、抽象彫刻をやる」というかたい決意を胸に、それまで作り続けてきた具象彫刻の塑造、石膏像などを大量に破棄。独自の表現を求めて制作に没頭する。9月、第25回新制作展(東京都美術館)に《緋緘》を出品。
1962	昭和37	31歳	1月、三木多聞(美術評論家)の企画するグループ展「彫刻の新鋭展」(椿近代画廊)に出品。 5月、この年から公募部門が設けられた第5回現代日本美術展(東京都美術館)に《跡》を出品。 9月、第26回新制作展(東京都美術館)に《喪華》を出品。
			 <p>《跡》 1962年 (「第5回現代日本美術展」出品)</p>
1963	昭和38	32歳	9月、第27回新制作展(東京都美術館)に《滯標-I》《滯標-II》を出品。新制作協会会員になる。
1964	昭和39	33歳	5月、第6回現代日本美術展(東京都美術館)に《標 No.3》を出品。 9月、第28回新制作展(東京都美術館)に《標-V》《標-VI》を出品。
			 <p>《標-VI》 1964年 (第28回新制作展出品)</p>
			 <p>《甲冑I》 1965年 (第29回新制作展出品)</p>
1965	昭和40	34歳	9月、第29回新制作展(東京都美術館)に《甲冑I》《甲冑II》を出品。 10月、第1回現代日本彫刻展(宇部市野外彫刻美術館)に《甲冑》を出品。

西暦	和暦	年齢	事項
----	----	----	----

1966	昭和41	35歳	5月、第7回現代日本美術展(東京都美術館)に《緘》を出品。 9月、第30回新制作展(東京都美術館)に《MASK-I》《MASK-II》《MASK-III》 《MASK-VI》を出品。
------	------	-----	---



《MASK-II》1966年
(第30回新制作展出品)

1967	昭和42	36歳	東京藝術大学の師・菊池一雄や淀井敏夫に推薦され、東京藝術大学彫刻科の講師となる。その時の彫刻科の教官は、第一講座が舟越保武、千野茂。第二講座が菊池一雄、伊東塊。第三講座が淀井敏夫、菅原安男。 この頃、学生紛争が激化し大学で対応に追われる一方、平柳田中の退官後、衰退していた木彫の復活を目指し、彫刻棟の改築計画に携わる。また、石匠を非常勤講師に招いて指導を仰ぐなど、木以外に石、鉄など実材を活かす制作の充実をはかる。
------	------	-----	--



《MASK VI》1967年
(第31回新制作展出品・
神奈川県立近代美術館蔵)

5月、第9回日本国際美術展(東京都美術館)に《MASK. May》を出品。
9月、第31回新制作展(東京都美術館)に《MASK 67U》《MASK VI》《MASK 67G》を出品。同展を見た土方定一(美術評論家・当時神奈川県立近代美術館長)が毎日新聞の連載で《MASK VI》を紹介。その後神奈川県立近代美術館に収蔵される。同館でその展示を見たイサム・ノグチが「この作家いいね、おもしろいよ」と褒めたことを土方から聞く。
10月、第2回現代日本彫刻展(宇部市野外彫刻美術館)に《MASK 67u》を出品。
同月、「今日の作家'67年展」(横浜市民ギャラリー)に《MASK・II》《MASK・MAY》《MASK・VI》《MASK・67G》《MASK・67U II》を出品。



《MASK. 囧》1968年
(第32回新制作展出品)

1968	昭和43	37歳	5月、第8回現代日本美術展(東京都美術館)に《MASK IV》を出品。 9月、第32回新制作展(東京都美術館)に《MASK. 囧》を出品。 10月、第1回神戸須磨離宮公園現代彫刻展に《MASK-AH》と《MASK-UN》 《MASK-68》を出品。宇部市野外彫刻美術館賞受賞。 この頃から、ポリエステル樹脂と木を組み合わせるなど、様々な変形形のMASKシリーズを展開する。
------	------	-----	--

1969	昭和44	38歳	8月、第1回現代国際彫刻展(彫刻の森美術館)にポリエステル樹脂を使った《白のマスク》を出品。コンクール賞受賞。彫刻の森美術館に作品を設置。 9月、第33回新制作展(東京都美術館)に《赤のMASK》を出品。 10月、第3回現代日本彫刻展(宇部市野外彫刻美術館)に《三つの白いマスク》 《MASK-AH》を出品。
------	------	-----	---



《赤のMASK》1969年
(第33回新制作展出品)

1970	昭和45	39歳	9月、第34回新制作展(東京都美術館)に《MASK-U》《作品 T-H》《作品 W. H. D》 (3点)の計5点を出品。 * この頃、「澄川喜一・藤田忠夫二人展」(小田急百貨店別館ハルク館)に《MASK》 (1970年制作)他を出品。
------	------	-----	---

西暦	和暦	年齢	事項
1971	昭和46	40歳	7月、第2回現代国際彫刻展(彫刻の森美術館)にアクリルとポリエステル樹脂を使った《手品師の椅子》を出品。 9月、第35回新制作展(東京都美術館)に《残像》(後に《MASK》に改題)を出品。 10月、第4回現代日本彫刻展 材料と彫刻-強化プラスチックによる(宇部市野外彫刻美術館)に《残像71》を出品。
			
			《残像》 1971年 (第35回新制作展出品)
1972	昭和47	41歳	9月、第36回新制作展(東京都美術館)に《OBLIQUE》《PIT》《MASK ENCASED》を出品。
1973	昭和48	42歳	4月、初の個展となる「澄川喜一展 MASK」(画廊春秋、東京)開催。 6月、第1回彫刻の森美術館大賞展(彫刻の森美術館)に《マスク》を出品。 9月、第37回新制作展(東京都美術館)に《MASK》《SKULL》を出品。
			
			第38回新制作展会場風景 1974年 左:《MASK-NOV》 右:《MASK-49》
1974	昭和49	43歳	9月、第38回新制作展(東京都美術館)に《MASK-49》(後に《SHIRUBE》に改題・島根県立石見美術館蔵)《MASK-NOV》を出品。 *清瀬市中央公園に《平和の塔》を設置(初めて手がけた公共野外彫刻)。
1975	昭和50	44歳	2月、「澄川喜一展」(現代彫刻センター、東京)開催。 3月、「現代作家グループ展」(神奈川県民ホールギャラリー、横浜市)に出品。 9月、第39回新制作展(東京都美術館)に《木時計-A》《木時計-B》《木時計-C》を出品。 10月、「現代彫刻20」(東京セントラル美術館)に《PORTRAIT-N》《EBOSHI-Q》《EBOSHI-R》を出品。 12月、東京藝術大学彫刻科の助教授に就任。
			
			《MASKと木時計》 1976年 (第40回新制作展出品)
1976	昭和51	45歳	5月、文部省在外研修員として渡欧し、ドイツ・オランダ・フランス・イギリス・イタリア・スペインの6ヶ国に6ヶ月間滞在する。 9月、第40回新制作展(東京都美術館)に《MASK》(後に《KARATANTAS-A》に改題か)《MASKと木時計》《MASKと記号》を出品。
1977	昭和52	46歳	9月、第41回新制作展(東京都美術館)に《平衡A 4枚と3枚のであい》《平衡B そりのあるかたち》(後に《そぎとそり》に改題・三重県立美術館蔵)を出品。 *1970年代後半から、木という素材を生かすとは何かを模索し始める。初期は「そり」と「そぎ」をテーマにした作品を制作していたが、やがて「そぎ」が影をひそめ、「そり(反り)」と「むくり(起り)」を主とした「そりのあるかたち」をテーマとして確立させ、後にライフワークとなっていく。 *山口県立岩国工業高等学校に《創造》を設置。
			
			第41回新制作展会場風景 1977年 (左:《平衡A 4枚と3枚のであい》 右:《平衡B そりのあるかたち》)

西暦	和暦	年齢	事項
1978	昭和53	47歳	<p>9月、第42回新制作展(東京都美術館)に《そりのあるかたち-1》《そりのあるかたち-2》を出品。 *栃木県警察学校庭園(宇都宮市)に《黒須周作先生像》を設置。</p>
			 <p>《そりのあるかたち-1》 1978年 (第42回新制作展出品・東京都現代美術館蔵)</p>
1979	昭和54	48歳	<p>2月、「澄川喜一木彫展」(現代彫刻センター、東京/大阪)開催。 3月、《そりのあるかたち-1》(1978年制作・東京都現代美術館蔵)で第8回平櫛田中賞受賞。 「木彫をはじめて10年間、MASKというタイトルで制作を続けていましたが、自然の中で生長した樹の内にある『そりのあるかたち』を発見し、『そりのあるかたち』シリーズをはじめた時、平櫛田中賞を受賞しました。感激しました。仕事の励みになりました。田中先生が逝去された1979年のことでした。」(『平櫛田中賞第15回を顧みて』井原市立田中美術館、1991年) 5月、「平櫛田中賞受賞記念展」(日本橋高島屋)開催。 7月、「現代の彫塑展」(板橋区立美術館)に出品。 9月、第43回新制作展(東京都美術館)に《そりのあるかたち9-27》を出品。 10月、第8回現代日本彫刻展(宇部市野外彫刻美術館)に《そりのあるかたち》を出品、宇部市野外彫刻美術館賞受賞。宇部市ときわ公園に設置(後、移設)。 11月、「日本の木刻・七人展」(現代彫刻センター、東京・大阪)に出品。 *《やまびこ》で第7回長野市野外彫刻賞受賞。長野市霊園に設置。 *「そりのあるかたち」をテーマとする制作で野外彫刻展への出品・受賞が続き、それにともない全国各地でモニュメント制作を依頼されるようになる。</p>
			 <p>《そりのあるかたち-2》 1978年 (第42回新制作展出品)</p>
1980	昭和55	49歳	<p>1月、「日本の木彫七人展」(現代彫刻センター、東京)に出品。 2月、第4回彫刻日動展(日動サロン)に《そりとそぎ》を出品。 5月、「現代彫刻・日本の八人展」(仙台)に《そりとそぎのあるかたち》他を出品。同作で第11回中原悌二郎賞優秀賞を受賞。 9月、第44回新制作展(東京都美術館)に《そりとそぎのあるかたち》(後に《そりのあるかたち》に改題・埼玉県立近代美術館蔵)を出品。 10月、第7回神戸須磨離宮公園現代彫刻展に《そりとそぎのあるかたち》を出品、神戸須磨離宮公園賞受賞。翌年神戸市中央体育館に設置。 11月、「絵と彫刻展」(第2回/大阪フォルム画廊、東京)に出品。</p>
			 <p>「平櫛田中賞受賞記念展」 (日本橋高島屋)会場にて、妻と 1979年5月</p>
1981	昭和56	50歳	<p>2月、第5回彫刻日動展(日動サロン)に《そりのあるかたち》を出品。 4月、「山口の現代美術I」(山口県立美術館)に出品。 6月、「彫刻家のデッサン展」(画廊文化学院)に出品。 7月、「日本近代彫刻の展開」(神奈川県立近代美術館)に出品。 同月、「ジェイコ現代彫刻展」(ギャラリー・ジェイコ、東京)に出品。 9月、「今日の作家5人展」(ストライプハウス美術館、東京)に《そりのあるかたち》を出品。 同月、第45回新制作展(東京都美術館)に《そりとそぎのあるかたち》(後に《そりとそぎのあるかたち'81》に改題)を出品。 同月、「今日の彫刻展 PART II」(現代彫刻センター、東京)に《そりとそぎのあるかたち》を出品。 10月、第9回現代日本彫刻展(宇部市野外彫刻美術館)に《そりのあるかたち》を出品、毎日新聞社賞受賞。JR宇部新川駅に設置。 11月、「絵と彫刻展」(第3回・大阪フォルム画廊、東京)に出品。 同月、第3回たまがわ野外彫刻とテキスタイル展(玉川高島屋ショッピングセンター、花みず木通り)に出品。 12月、東京藝術大学彫刻科教授に就任。 *神奈川県庁に《飛翔》を設置。</p>
			 <p>《そりのあるかたち》(JR宇部新川駅) 1981年(撮影2021年・左近充直美)</p>

西暦	和暦	年齢	事項
1982	昭和57	51歳	<p>3月、第6回彫刻日動展(日動サロン)に《そりのあるかたち》を出品。</p> <p>4月、「澄川喜一展」(岩国市民会館・ロダン展と併催)開催。</p> <p>同月、「彫刻家による版画の世界展」(岩国画廊)開催。</p> <p>版画《フェニックスの翼A》《フェニックスの翼B》を出品。</p> <p>5月、「コージースペース展 建昌覚造・澄川喜一・最上壽之展」(コージースペース、東京)に出品。</p> <p>6月、「澄川喜一展」(現代彫刻センター、大阪/東京)に《フェニックスの翼A》他15点を出品。</p> <p>9月、第46回新制作展(東京都美術館)に《そりのあるかたち'82》《そりとそぎ》を出品。</p> <p>10月、「明日を開く作家たち PART-II展」(ギャラリーせいほう、東京)に出品。</p> <p>11月、「絵と彫刻展」(第4回・大阪フォルム画廊、東京)に《ひっかかった流れ星》を出品。</p> <p>* 山口県立総合医療センターに《鶴》を設置。</p> <p>* 岩国市民会館に《フェニックスの翼》を設置。</p>
			 <p>「澄川喜一展」(岩国市民会館)外観 1982年</p>
1983	昭和58	52歳	<p>2月、「木のかたちとエスプリ」(埼玉県立近代美術館)に出品。</p> <p>3月、第7回彫刻日動展(日動サロン)に《フェニックスの翼》を出品。</p> <p>同月、第1回東京野外現代彫刻展(世田谷区砧公園)に《そりのあるかたち》を出品。優秀賞受賞。同公園内に設置。</p> <p>同月、「昭和57年度 文化庁買上優秀美術作品披露展」(日本芸術院会館)に《そりとそぎ'82》を出品。</p> <p>9月、第47回新制作展(東京都美術館)に《そりのあるかたち'83》(後に《そりとそぎのあるかたち83》に改題・鳥根県立石見美術館蔵)を出品。</p> <p>11月、「現代日本美術の展望—立体造形展」(富山県立近代美術館)に出品。</p> <p>同月、「絵と彫刻展」(第5回・大阪フォルム画廊、東京)に《そりのあるかたち'83》他を出品。</p> <p>* 山口県立総合医療センターに《SETONAIKAI》《NIHONKAI》《HIBIKINADA》を設置。</p> <p>* 鈴屋ミキモト本館で《そりのあるかたち'83》が展示される。</p> <p>* 山口県庁に《フェニックスの翼》《そりのあるかたち'83》を設置。</p>
1984	昭和59	53歳	<p>1月、「近・現代日本の彫刻」(山口県立美術館)に出品。</p> <p>6月、「今日の造形・木と紙—自然との対話」(岐阜県美術館)に出品。</p> <p>8月、「現代日本彫刻の流れ」(西武ホール、大津)に出品。</p> <p>9月、「株式会社聖豊社設立20周年記念 創業46年 現代彫刻の展開1930-80」(ギャラリーせいほう、東京)に出品。</p> <p>同月、第48回新制作展(東京都美術館)に《そりのあるかたち》(後に《そりのあるかたち'84》に改題)を出品。</p> <p>* 「栃木県小山彫刻展」に《そりのあるかたち》を出品、大賞受賞。小山中央市民会館(現・小山市立文化センター)に設置。</p> <p>* 山口県庁前庭に《鷺舞の譜》を設置。</p> <p>* 国営武蔵丘陵森林公園(滑川町)に《そりのあるかたち'84》を設置。</p> <p>* JR大竹駅前に《和》(大竹市市制30周年記念塔)を設置。</p> <p>* 上越市高田公園に《そりのあるかたち'84》を設置。</p> <p>* 下関市日和山公園に《国司浩助氏像》を設置。</p>
			 <p>国司浩助氏像(原型)を制作中の澄川</p>

西暦	和暦	年齢	事項	
1985	昭和60	54歳	<p>1月、「現代彫刻の歩み—木の造形」(神奈川県民ホールギャラリー)に出品。</p> <p>7月、「澄川喜一彫刻展」(本間利雄設計事務所ホール[本間ギャラリー、山形]現代彫刻センター主催)開催。19点を出品。</p> <p>同月、「現代彫刻作家シリーズ5」(ギャラリーせいほう)に出品。</p> <p>9月、第49回新制作展(東京都美術館)に《そりのあるかたち 85》(後に《そりのあるかたち 85》に改題)を出品。</p> <p>同月、「細江英公<ガウディの宇宙>オリジナルカラープリント展」(画廊春秋)に出品(《ガウディの宇宙》を木と金属で包んだ作品)。</p> <p>同月、「橋本平八と円空—木彫・鉦彫の系譜」展(三重県立美術館)に《そぎとそり》《そりのあるかたち》を出品。</p> <p>* 館山城城山公園に《光と風と夢》を設置。</p> <p>* 井原市立田中美術館・田中苑に《飛翔》を設置。</p> <p>* 岩国市吉賀公園に《石の翼》を設置。</p> <p>* 宇和島城上り立ち門前に《児島惟謙先生像》を設置。</p>	
1986	昭和61	55歳	<p>3月、「第10回彫刻日動展」(日動画廊本店、東京)に《そぎのあるかたち》を出品。</p> <p>9月、第50回新制作展(東京都美術館)に《そりのあるかたち 86》(後に《そりのあるかたち 86》に改題・島根県立石見美術館蔵)を出品。</p> <p>* 札幌芸術の森美術館に《そりのあるかたち》を設置。</p> <p>* 防府市西佐波公園に《矢羽根石》を設置。</p> <p>* 世田谷美術館に《そりのあるかたち:Wings of Phoenix》(1983制作)を設置。</p>	<p>制作中の児島惟謙先生像(原型)と</p>
1987	昭和62	56歳	<p>9月、第51回新制作展(東京都美術館)に《そりのあるかたち-87》(後に《そりのあるかたち 87》に改題)を出品。</p> <p>10月、「澄川喜一彫刻展」(現代彫刻センター、東京)開催。</p> <p>12月、「スペース・コンセプト」(東京セントラルアネックス)に出品。</p> <p>* JR釧路駅に《光る風》を設置。</p>	
1988	昭和63	57歳	<p>5月、山口県庁前庭の野外彫刻《鷺舞の譜》を中心とした環境造形で第13回吉田五十八賞受賞。</p> <p>9月、第52回新制作展(東京都美術館)に《そりのあるかたち 88》を出品。</p> <p>《こっとい》で第1回倉吉・緑の彫刻賞受賞。10月、倉吉市立博物館で「倉吉・緑の彫刻賞受賞記念展」開催。倉吉大橋に設置。</p> <p>* 「現代日本美術展」(香港)に出品。</p> <p>* 横浜市の一本橋、万里橋のデザイン監修を行う。</p> <p>* 岩国市民会館に《そりのあるかたち》を設置。</p> <p>* 玄海彫刻の岬公園恋の浦(現・玄海国定公園・恋の浦ガーデン、福津市)に《風門》を設置。</p>	
1989	平成元	58歳	<p>9月、第53回新制作展(東京都美術館)に《そりのあるかたち》(後に《そりのあるかたち 89》に改題)を出品。</p> <p>10月、「第7回神戸須磨離宮公園現代彫刻展」(神戸市立須磨離宮公園)に《そりとそぎのあるかたち》を出品。</p> <p>12月、東京藝術大学美術学部長に就任。</p> <p>同月、「抽象彫刻の旗手たち」(福島県立美術館)に《そりのあるかたち-A》《そりのあるかたち-88》を出品。</p> <p>* 「おぐに KOIZUMIWA 彫刻展」(小国町役場)に出品。</p> <p>* 小国町役場に《TO THE SKY》を設置。</p> <p>* 横浜市の道慶橋のデザイン監修を行う。</p> <p>* 彫刻のあるシンボルロード(姫路市)に《お月さまのかお》を設置。</p> <p>* 山口県立岩国工業高等学校に《芽》を設置。</p> <p>* 広島市現代美術館に《安芸の翼》を設置。</p> <p>* 三井住友海上火災保険(東京都)に《光庭》を設置。</p> <p>* 永平寺別院長谷寺(港区)の黒田清輝の墓の横に顕彰碑レリーフを設置。</p> <p>* はばたきの郷八王子自立ホームに《はばたき》を設置。</p> <p>* 山口県亀山公園噴水に《うごく城》を設置。</p>	

制作中の児島惟謙先生像(原型)と

《鷺舞の譜》(山口県庁前庭) 1984年
(撮影2021年・山崎信一)

《うごく城》(山口県亀山公園) 1989年
(撮影2021年・山崎信一)

西暦	和暦	年齢	事項
1990	平成2	59歳	<p>2月、「スペース・コンセプトII」(東京セントラルアネックス、梅田近代美術館)に《そりのあるかたち-A》を出品。</p> <p>9月、第54回新制作展(東京都美術館)に《そりのあるかたち'90》を出品。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 朝倉文夫記念館(大分県豊後大野市)の庭園造形を行う。美術館の設計は建築家・清家清。 * 清瀬市キョセケヤキロードギャラリーに《そりのあるかたち'90》を設置。 * 横浜市の鴨池橋のデザイン監修を行う。 * 新宿モリスビルに《TO THE SKY》を設置。 * 熱海市に《TO THE SKY》を設置。 * 東京藝術大学美術学部同窓会報「社」の題字をデザイン。
1991	平成3	60歳	<p>3月、立川市制五十周年記念 憩いの場に《To The Sky》を設置。</p> <p>同月、ジュンテンドー研修センター(鳥根県益田市)で講演を行う。</p> <p>5月、「日本近代彫刻の一世一写実主義から立体表現へ」(茨城県立近代美術館、徳島県立近代美術館)に《そぎとそり》を出品。</p> <p>6月、「スペース・コンセプト・福岡」(福岡市美術館)に《そりのあるかたち'91A》他を出品。</p> <p>9月、第55回新制作展(東京都美術館)に《そりのあるかたち'91》を出品。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 倉吉市緑の彫刻プロムナードに《TO THE SKY》を設置。 * 松本市総合体育館に《TO THE SKY》を設置。 * 横浜市南部斎場に《WINGS OF PHOENIX》を設置。 * 日清オイリオグループ株式会社中央研究所(横須賀市)に《TO THE SKY》を設置。 * 横浜公園に《リチャード・ヘンリー・ブラントン記念像》を設置。 * 電気通信大学(調布市)に《そりのあるかたち》を設置。 * 市制五十周年記念憩いの場(立川市)に《TO THE SKY》を設置。 * ヴィンテージ熱海・桃山に《フェニックスの翼》を設置。
1992	平成4	61歳	<p>3月、「都市の指標—現代彫刻と環境展」(日本橋高島屋)に出品。</p> <p>9月、第56回新制作展(東京都美術館)に《木の翼》を出品。</p> <p>10月、「澄川喜一展」(高島屋、東京/大阪)開催。《木の群》他を出品。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 和木町立和木美術館に《TO THE SKY》を設置。 * 碧南市城山ポケット広場に《TO THE SKY》を設置。2003年度、碧南市立東中学校に移設。 * 葛飾区文化会館「かつしかシンフォニーヒルズ」に《フェニックスの翼》を設置。 * 南足柄市民会館(現・南足柄市文化会館「金太郎みらいホール」)に《TO THE SKY》を設置。 * キリンビバレッジ周南市総合スポーツセンターに《TO THE SKY》を設置。 * 鳥根県立浜田高等学校に《翔》を設置。 * 青山学院大学相模原キャンパスに《TO THE SKY》を設置。
1993	平成5	62歳	<p>6月、「KIICHI SUMIKAWA, Recent Sculpture 澄川喜一近作展」(タカヤマ・ニューヨーク・ギャラリー)開催。</p> <p>9月、第57回新制作展(東京都美術館)に《そりのあるかたち'93》を出品。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 遊佐町立遊佐中学校に《TO THE SKY》を設置。 * 大分空港に《TO THE SKY》を設置。 * 横浜銀行本店に《そりのあるかたち》を設置。 * 鳥根県立国際短期大学(現・鳥根県立大学、浜田市)に《WEST HORIZON SHIMANE》を設置。 * 萩・石見空港に《TO THE SKY》を設置。 * 岐阜県民ふれあい会館(現・OKBふれあい会館)に《TO THE SKY》を設置。 * 鳥取県立県民文化会館に《WINGS OF PHOENIX》を設置。 * 秋田県立近代美術館に《TO THE SKY》を設置。 * 群馬大学昭和キャンパスに《井関尚栄先生像》を設置。 * 山口県科学技術振興奨励賞記念品としてトロフィー《フェニックスの翼》を制作。



《TO THE SKY》(新宿モリスビル)
1990年(撮影2015年・内海敏晴)



《リチャード・ヘンリー・ブラントン記念像》
(神奈川県横浜公園) 1991年



ニューヨークの個展で彫刻家マリソル・エスコバルと
1993年

西暦	和暦	年齢	事項
1994	平成6	63歳	<p>9月、第58回新制作展(東京都美術館)に《そりのあるかたち'94》を出品。 * 広島広域公園に《HOP, STEP AND JUMP》(織田幹男記念碑)を設置。 * アクティブライフ井原に《TO THE SKY》を設置。</p>
1995	平成7	64歳	<p>9月、「澄川喜一展」(現代彫刻センター、東京)開催。 同月、第59回新制作展(東京都美術館)に《そりのあるかたち'95》(後に《そりのあるかたち'95》に改題・島根県立石見美術館蔵)を出品。 12月、東京藝術大学学長に就任。 * とうや湖ぐるっと彫刻公園に《月》を設置。 * 駒場留学生会館(現:東京大学インターナショナルロジック 駒場ロジック)(目黒区)に《RING》を設置。 * 弁護士会館(千代田区)に《無題》を設置。 * 八王子市の南大沢輪舞歩道橋のデザイン監修を行う。 * 取手市こふし公園に《おつきさま》を設置。</p>
1996	平成8	65歳	<p>2月、平凡社から作品集『澄川喜一 そりのあるかたち』を出版。 4月、「澄川喜一彫刻展」(松坂屋本店、名古屋)開催。 8月、「茶の湯への試み—現代彫刻11人展」(松坂屋本店、名古屋)に出品。 10月、「朝倉文夫記念公園開園5周年記念特別企画展 そりのあるかたち 澄川喜一展」(朝倉文夫記念館)開催。彫刻19点を出品。 * 高山市役所に《木精》を設置。 * 山口県民文化ホールいわくに「シンフォニア岩国」に《TO THE SKY》《MOON》を設置。 * 山口県岩国総合庁舎に《おひさん》を設置。 * 錦川錦帯橋鶴飼広場(岩国市)に《日・月・星》を設置。 * 滝元枕瀬公民館(津和野町)に《おつきさん》を設置。 * 台東区生涯学習センターに《MASK》を設置。 * 六日市町(現・吉賀町)名誉町民となる。</p>
1997	平成9	66歳	<p>9月、第61回新制作展(東京都美術館)に《そりのあるかたち'97》を出品。 10月、「澄川喜一木彫展」(日動画廊、東京)開催。 * いおワールド・かごしま水族館に《風》を設置。 * 新日本石油虎ノ門ビル(港区)に《TO THE SKY》を設置。 * 東京湾アクアライン川崎人工島浮島「風の塔」のデザイン監修を行う。 * 東京湾アクアライン海ほたるに《カッターフェイス》を設置。</p>
1998	平成10	67歳	<p>9月、第62回新制作展(東京都美術館)に《そりのあるかたち'98》を出品。 * 紫綬褒章を受章する。 * 横浜市本牧山頂公園観山広場に《種》(下村観山記念碑)を設置。 * 取手市役所に《菊地勝志郎先生像》を設置。 * 井原鉄道井原駅に《扇》を設置。</p>



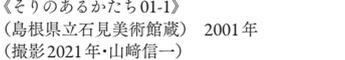
《日・月・星》(岩国市 錦川錦帯橋鶴飼広場) 1996年(撮影2021年・山崎信一)



東京湾アクアライン川崎人工島浮島「風の塔」(神奈川県川崎市) 1997年 (写真提供 株式会社ケー・エス・アート)



《扇》(井原鉄道井原駅) 1998年 (撮影2022年・的野克之)

西暦	和暦	年齢	事項
1999	平成11	68歳	<p>2月、著書『高津川と錦川』(形文社)を出版。</p> <p>5月、「樹と木と気 澄川喜一展」(日本橋三越本店、福岡三越)開催。</p> <p>9月、第63回新制作展(東京都美術館)に《そりのあるかたち'99》(後に《そりのあるかたち99》に改題・島根県立石見美術館蔵)を出品。</p> <p>同月、「木の系譜 澄川喜一・深井隆・籾内佐斗司展」(高島屋、東京／大阪)に《そりのあるかたち》他を出品。</p> <p>* 紺綬褒章を受章する。</p> <p>* むいかいち温泉ゆ・ら・ら(吉賀町)に《風》を設置。</p> <p>* 島根県立美術館(松江市)に《風門》を設置。</p>
			
2000	平成12	69歳	<p>9月、第64回新制作展(東京都美術館)に《そりのあるかたち2000》(島根県立石見美術館蔵)を出品。</p> <p>* むいかいち温泉ゆ・ら・らに《およりんさんせ》を設置。</p> <p>* 東京外国語大学(府中市)に《翔》を設置。</p> <p>* 東京信用保証協会ビル(中央区)に《翔》を設置。</p> <p>* 明治安田生命大阪梅田ビルに《月琴》を設置。</p> <p>* 日本書道教育学会(千代田区)に《石橋犀水先生像》を設置。</p> <p>* NTTドコモ代々木ビル(渋谷区)に《TO THE SKY》を設置。</p> <p>* 島根県立吉賀高等学校に《翔》を設置。</p>
			
2001	平成13	70歳	<p>7月、《風門》(島根県立美術館)で第10回本郷新賞を受賞。</p> <p>9月、「そりのあるかたち 退官記念 澄川喜一展」(東京藝術大学大学美術館)開催。</p> <p>同月、第65回新制作展(東京都美術館)に《そりのあるかたち、2001》(後に《そりのあるかたち01-1》に改題・島根県立石見美術館蔵)を出品。</p> <p>同月、「澄川喜一彫刻展 第10回本郷新賞受賞記念」(札幌彫刻美術館)開催。</p> <p>10月、「垂直の時間 彫刻—過去・現在・未来—」(東京藝術大学陳列館)に《そりのあるかたち2001》を出品。</p> <p>11月、第5回やまぐち県民文化祭「文化振興シンポジウム」(山口県教育会館ホール)に参加。</p> <p>12月、東京藝術大学学長を退官(任期満了)。東京藝術大学名誉教授となる。</p> <p>* 平山郁夫シルクロード美術館(北杜市)に《SUN》を設置。</p> <p>* 佐渡市相川町に《益田孝(鈍翁)顕彰碑》を設置。</p> <p>* 山口県立萩美術館・浦上記念館に《浦上敏朗先生像》を設置。</p>
			
2002	平成14	71歳	<p>3月、「東京藝術大学学長退官記念 そりのあるかたち 澄川喜一展」(高島屋、東京／大阪)開催。</p> <p>8月、「ふるさとのアーティストたち」展(山口県立美術館)に出品。</p> <p>9月、第66回新制作展(東京都美術館)に《そりのあるかたち-02》(後に《そりのあるかたち'02》に改題)を出品。</p> <p>12月、「2002 韓日現代美術展」(カナアートセンター、大韓民国ソウル市)に《そりのあるかたち》を出品。</p> <p>* NTTドコモR&Dセンタ(横須賀市)に《そりのあるかたち》を設置。</p> <p>* 山口県文化特別功労賞を受賞。</p> <p>* この年から翌年にかけて、東京駅八重洲口「グランルーフ」のデザインコミッティ委員を務める(「グランルーフ」は2013年9月に完成)。</p>
			

《風門》(島根県立美術館1998年制作／1999年設置(写真提供 島根県立美術館))

《およりんさんせ》
(島根県吉賀町・むいかいち温泉ゆ・ら・ら)
2000年(撮影2021年・山崎信一)

《そりのあるかたち01-1》
(島根県立石見美術館蔵) 2001年
(撮影2021年・山崎信一)

西暦	和暦	年齢	事項	
2003	平成15	72歳	<p>2月、「ビック・ウェーブ展」(日本橋高島屋)に出品。</p> <p>3月、恩賜賞・日本芸術院賞を受賞。受賞作の《そりのあるかたち'02》が日本芸術院所蔵となる。</p> <p>6月、「恩賜賞・日本芸術院賞受賞作品展」に出品。</p> <p>9月、第67回新制作展(東京都美術館)に《そりのあるかたち-03》(後に《そりのあるかたち 03》に改題・島根県立石見美術館蔵)を出品。</p> <p>* 下関あるかばーとに《青春交響の塔(坂本龍馬と高杉晋作の肖像)》を設置。</p>	
<p>《青春交響の塔(坂本龍馬と高杉晋作の肖像)》 2003年 (写真提供 株式会社ケー・エス・アート)</p>				
2004	平成16	73歳	<p>1月、横浜みなとみらい線馬車道駅に《金波・銀波～Gold and Silver Waves～》を設置。</p> <p>2月、「第2回茶の湯への試み—現代彫刻11人展」(松坂屋本店、名古屋)に出品。</p> <p>9月、第68回新制作展(東京都美術館)に《そりのあるかたち》(後に《そりのあるかたち 04》に改題・島根県立石見美術館蔵)を出品。</p> <p>12月、日本芸術院会員に就任。</p> <p>* 日本生命丸の内ビル(千代田区)に《TO THE SKY》を設置。</p>	
2005	平成17	74歳	<p>4月、島根県芸術文化センター「グラントワ」(島根県益田市)のセンター長に就任。</p> <p>6月、松坂屋本店(名古屋)で、「新たなる翔き 澄川喜一展」開催。</p> <p>9月、第69回新制作展(東京都美術館)に《そりのあるかたち 05》(島根県立石見美術館蔵)を出品。</p> <p>10月、島根県芸術文化センター「グラントワ」開館。同所に《OROCHI》(2001年制作、黒御影石)、《OROCHI》(御影石)を設置。</p> <p>* 日韓現代美術展(福岡アジア美術館、世宗文化会館・ソウル)に出品。</p> <p>* 京都迎賓館に《翔》を設置。</p> <p>* 岩国市周東文化会館パストラルホールに《TO THE SKY》を設置。</p>	
<p>《OROCHI》(島根県芸術文化センター) 2005年</p>				
2006	平成18	75歳	<p>9月、第70回新制作展(東京都美術館)に《そりのあるかたち'06》(後に《そりのあるかたち 06》に改題・島根県立石見美術館蔵)を出品。</p> <p>* 東京スカイツリー®のデザイン監修者に就任。11月25日にデザイン発表。</p> <p>* 国立科学博物館(台東区)に《TO THE SKY》を設置。</p>	
2007	平成19	76歳	<p>9月、第71回新制作展(国立新美術館)に《そりのあるかたち'07》(後に《そりのあるかたち》に改題・島根県立石見美術館蔵)を出品。</p> <p>同月、『澄川喜一作品集』(講談社)を出版。</p> <p>10月、『『澄川喜一作品集(刊行講談社)』出版記念 澄川喜一展』(高島屋、東京/大阪/京都)開催。</p>	

西暦	和暦	年齢	事項	
2008	平成20	77歳	<p>4月、「ビッグヒート展」(日本橋高島屋)に出品。</p> <p>9月、第72回新制作展(国立新美術館)に《そりのあるかたち.2008》(後に《そりのあるかたち2008》に改題)を出品。</p> <p>同月、「澄川喜一作品集」出版記念「澄川喜一展」(松坂屋本店、名古屋)開催。</p> <p>10月、文化功労者に顕彰。</p> <p>*岩国市役所に《錦帯》を設置。</p>	
2009	平成21	78歳	<p>1月、島根県功労者表彰を受ける。</p> <p>9月、第73回新制作展(国立新美術館)に《そりのあるかたち.2009》(後に《そりのあるかたち2009》に改題・島根県立石見美術館蔵)を出品。</p> <p>*NHK放送文化賞受賞。</p> <p>*東京藝術大学名誉博士号をうける。</p> <p>*國學院大学渋谷キャンパスに《翔》《翼》を設置。</p>	
2010	平成22	79歳	<p>1月、島根県芸術文化センター「グラントワ」のマスコットキャラクター「オロチくん」のデザイン監修をつとめる。</p> <p>9月、第74回新制作展(国立新美術館)に《そりのあるかたち.2010》(後に《そりのあるかたち2010》に改題・島根県立石見美術館蔵)を出品。</p> <p>10月、「澄川喜一彫刻展」(日本橋三越本店)開催。</p> <p>同月、清瀬けやきホールに《日・月》《清瀬の流れ》を設置。</p> <p>*吉賀町役場に《TO THE SKY》を設置。</p>	 <p>オロチくん (島根県芸術文化センター「グラントワ」マスコットキャラクター)</p>
2011	平成23	80歳	<p>3月、岩国市の市町村合併5周年を記念して、岩国市役所に《岩国市民憲章の碑》を設置。</p> <p>4月、「木の系譜三代展」(高島屋、東京/大阪/京都/横浜/新宿/名古屋)に出品。</p> <p>9月、第75回新制作展(国立新美術館)に《そりのあるかたち.2011》(後に《そりのあるかたち2011》に改題)を出品。</p> <p>10月、「彫刻の時間—継承と展開」(東京藝術大学大学美術館)に出品。</p>	
2012	平成24	81歳	<p>1月、東京新聞フォーラム「匠の技の先端と伝統 東京スカイツリー」で基調講演「スカイツリーの秘密」を行う(江戸東京博物館)。</p> <p>4月、岩国市名誉市民となる。</p> <p>同月、東京スカイツリータウン®内「ソラマチひろば」に《TO THE SKY》(御影石)設置。とうきょうスカイツリー駅構内に《TO THE SKY》(陶板レリーフ)設置。</p> <p>同月、「東京スカイツリー®×そりのあるかたち 澄川喜一彫刻展」(高島屋、東京/大阪/名古屋)開催。</p> <p>5月、東京スカイツリー®開業(22日)。</p> <p>6月、「澄川喜一展」(山口県立美術館)開催。</p> <p>7月、清瀬市名誉市民となる。</p> <p>9月、第76回新制作展(国立新美術館)に《そりのあるかたち2012》(島根県立石見美術館蔵)を出品。</p> <p>同月、「澄川喜一展 そりのあるかたち」(あさご芸術の森美術館、朝来市)開催。</p> <p>10月、「特別展 澄川喜一彫刻展～そりのあるかたち～」(島根県立石見美術館)開催。</p> <p>11月、あさご芸術の森美術館に《おつきさま》を設置。</p>	 <p>デザイン監修した東京スカイツリー®と作品《TO THE SKY》の前で (撮影2012年・内海敏晴)</p>

西暦	和暦	年齢	事項
2013	平成25	82歳	2月、「木の造形—探求する三人展」(松坂屋名古屋)に出品。 4月、奥出雲 鉄の彫刻美術館に《奥出雲オロチ》を設置。 同月、特別展「奥出雲オロチ展」(奥出雲 鉄の彫刻美術館)開催。 9月、第77回新制作展(国立新美術館)に《そりのあるかたち 2013》を出品。 11月、横浜市文化賞を受賞。 同月、中国文化賞を受賞。 同月、石川県立音楽堂の音楽堂アワープレミアム2013にゲストとして招かれる。

2014	平成26	83歳	2月、トークショー「森英恵×澄川喜一」(島根県芸術文化センター)開催。 3月、高津川デザインフォーラム「デザインが創る快適な暮らしと社会」で「地域文化の活性化とデザインの重要性」と題して講演を行う(島根県芸術文化センター)。 4月、「そりのあるカタチと『東京スカイツリー®』」と題して講演を行う(シンフォニア岩国)。 6月、「木の系譜—進化する奔流」(高島屋、東京/大阪/横浜)に出品。 8月、「新安来市発足10周年紀年米原雲海展」(和鋼博物館)で講演を行う。 9月、第78回新制作展(国立新美術館)に《そりのあるかたち 2014》を出品。 10月、「彫刻家 澄川喜一と東京スカイツリー®」(清瀬市郷土博物館)開催。 同月、「未来に翔く若者へのメッセージ~日本のものづくり 技と伝統~」と題して講演を行う(呉市文化ホール・呉工業高等専門学校50周年記念講演会)。
------	------	-----	--



森英恵さんとのトークショー 2014年

2015	平成27	84歳	2月、「ふるさとに想う」と題して講演を行う(吉賀町ふれあい会館)。 4月、トークショー「森英恵 仕事とスタイルを語る」で聞き手を務める(島根県芸術文化センター)。 7月、「澄川喜一 シンプル・イズ・ビューティフル」(島根県立石見美術館)開催。 9月、第79回新制作展に《そりのあるかたち 2015》(後に《そりのあるかたち》に改題)を出品。 10月、「澄川喜一彫刻展」(日本橋三越本店)開催。 *大崎駅の大崎ブライトタワーに《TO THE SKY》を設置。
------	------	-----	---



企画展「澄川喜一 シンプル・イズ・ビューティフル」展ポスター (島根県立石見美術館)

2016	平成28	85歳	2月、「まちづくりと美術館のあり方」と題して講演を行う(鳥取短期大学シグナスホール)。 6月、「山口県立美術館所蔵 澄川喜一展 全ての原点は錦帯橋から」(シンフォニア岩国)開催。 9月、第80回新制作展に《そりのあるかたち 2016》(後に《そりのあるかたち》と改題)を出品。 10月、「澄川喜一展」(松坂屋名古屋)開催。《そりのあるかたち a》他約20点を出品。
------	------	-----	---

西暦	和暦	年齢	事項
2017	平成29	86歳	<p>4月、島根県吉賀町(出身地)に「澄川喜一記念公園 彫刻の道」が完成。《TO THE SKY》を設置(27日完成セレモニー)。</p> <p>5月、「ビック・ヒート2017-巨匠は白熱する」(高島屋、東京/大阪)開催。2点を出品。</p> <p>6月、豪華寝台列車「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」(JR西日本で17日から運行開始)のスイート寝台車「ザ・スイート」にレリーフ状の作品《OROCHI》を設置。</p> <p>9月、第81回新制作展(国立新美術館)に《そりのあるかたち、2017》(後に《そりのあるかたち》に改題・島根県立石見美術館蔵)を出品。</p> <p>12月、「澄川喜一 彫刻展」(天満屋、広島/岡山/米子/福山)開催。</p>
			
2018	平成30	87歳	<p>1月、「版画の景色—現代版画センターの軌跡」展(埼玉県立近代美術館)に版画《フェニックスの翼 A》《フェニックスの翼 B》を出品。</p> <p>6月、「東京スカイツリー*について」と題して講演を行う(島根県建築士会定例総会)。</p> <p>9月、第82回新制作展(国立新美術館)に《そりのあるかたち、2018》(後に《そりのあるかたち》に改題・島根県立石見美術館蔵)を出品。</p> <p>11月、「探検バクモン」(NHK)出演。</p> <p>同月、コレクション展「空間を奏でる—澄川喜一の彫刻」(島根県立石見美術館)開催。</p>
			<p>「澄川喜一記念公園 彫刻の道」完成セレモニーにて</p>
2019	平成31・ 令和元	88歳	<p>9月、第83回新制作展に《そりのあるかたち、2019》(後に《そりのあるかたち》に改題・島根県立石見美術館蔵)を出品。</p> <p>10月、「米寿の新作—澄川喜一展」(高島屋、東京/大阪/京都)開催。</p>
2020	令和2	89歳	<p>2月、「澄川喜一—そりとむくり展」(横浜美術館)開催(コロナ感染拡大により会期中から閉幕日まで休館)。</p> <p>同月、「澄川喜一展—そりのあるかたち」(横浜高島屋)開催。</p> <p>3月、作品と資料(彫刻作品95点と作家・作品に関する資料一式)を島根県に寄贈。島根県立石見美術館所蔵となる。</p> <p>9月、コレクション展「受贈記念—澄川喜一展」(島根県立石見美術館)開催。</p> <p>10月、文化勲章受章(27日発表—11月3日親授式)。</p> <p>12月、島根県吉賀町(出身地)、および東京都清瀬市(居住地)で文化勲章を記念した祝賀会を開催。</p> <p>同月、特別展「文化勲章受章記念—澄川喜一展」(島根県立石見美術館)開催。受章を記念して同館のある島根県芸術文化センター前庭にコウヤマキを植樹。植樹記念碑(株式会社黒髪石材製作・寄贈)の除幕式を行う。</p> <p>同月、シンフォニア岩国で文化勲章受章式典を開催。</p>
			
			<p>コウヤマキを植樹(島根県芸術文化センター)</p>
2021	令和3	90歳	<p>2月、横浜みなとみらい線馬車道駅のモニュメント《金波・銀波～Gold and Silver Waves～》の補修工事が完了。</p> <p>3月、島根県より県民栄誉賞をうける(19日)。</p> <p>同月、神宮の杜芸術祝祭の彫刻展「気韻生動—平櫛田中と伝統を未来へ継ぐものたち」展(明治神宮宝物館[中倉])に彫刻2点を出品。</p> <p>7月、「文化勲章受章記念—澄川喜一展」(日本橋三越本店)開催。</p> <p>9月、第84回新制作展に《そりのあるかたち2021》(後に「生きる力」に改題)を出品。</p> <p>11月、「澄川喜一展」(日本橋三越本店)開催。</p> <p>12月、『そりとむくり—彫刻家 澄川喜一』(山陰中央新報社)を刊行。</p>

西暦	和暦	年齢	事項
2022	令和4	91歳	<p>3月、作品と資料(彫刻作品25点と作家・作品に関する資料一式)を島根県に寄贈。島根県立石見美術館所蔵となる。</p> <p>同月、企画展「はじまりのかたち 柳原義達・向井良吉・澄川喜一 彫刻展」(宇部市 緑と花と彫刻の博物館)に《MASK-AH》(同館蔵)とスケッチブックを出品。</p> <p>6月、島根県芸術文化センター長(兼島根県立石見美術館長)を辞任(30日)。</p> <p>*千葉銀行本店に《TO THE SKY》を設置。</p>
2023	令和5	92歳	<p>2月、島根県立石見美術館で特別展「受贈記念 彫刻家・澄川喜一の仕事展」(2月4日～4月3日)開催。</p>



特別展「受贈記念 彫刻家・澄川喜一の仕事」展ポスター
(島根県立石見美術館)

野外彫刻・環境造形・記念碑所在一覧

凡例

- ・本一覧は『企画展 澄川喜一 シンプル・イズ・ビューティフル』展図録(2015年、鳥根県立石見美術館)所収の同一覧(帯刀奈緒 編)に基づき、株式会社ケー・エス・アートからの提供情報、および『澄川喜一 そりとむくり』展図録(2020年、横浜美術館)株式会社求龍堂発行所収の同一覧(大澤紗蓉子 編)他を参考に加筆修正を行った。
- ・地図上の所在地を示す点は、一部省略したものもある。

中国

- 鳥取県立県民文化会館「とりぎん文化会館」〈WINGS OF PHOENIX〉1993 (鳥取県鳥取市)
倉吉大橋西詰親柱〈こつとい〉1988 (鳥取県倉吉市) 第1回倉吉:緑の彫刻賞
緑の彫刻プロムナード〈TO THE SKY〉1991 (鳥取県倉吉市)
鳥根県立美術館〈風門〉1998/1999設置 (鳥根県松江市) 第10回本郷新賞
奥出雲 鉄の彫刻美術館〈奥出雲オロチ〉2013 (鳥根県仁多郡奥出雲町)
鳥根県立浜田高等学校〈翔〉1992 (鳥根県浜田市)
鳥根県立大学〈WEST HORIZON SHIMANE〉1993 (鳥根県浜田市)
萩・石見空港〈TO THE SKY〉1993 (鳥根県益田市)
鳥根県芸術文化センター「グラントワ」〈OROCHI〉2001/2005設置/
〈OROCHI〉2005 (鳥根県益田市)
滝元枕瀬公民館〈おつきさん〉1996 (鳥根県鹿足郡津和野町)
むいかいち温泉ゆ・ら・ら〈風〉1999/〈およりんさんせ〉2000/〈TO THE SKY〉2017
(彫刻の道 澄川喜一記念公園・鳥根県鹿足郡吉賀町)
鳥根県立吉賀高等学校〈翔〉2000 (鳥根県鹿足郡吉賀町)
吉賀町役場〈TO THE SKY〉2010 (鳥根県鹿足郡吉賀町)
井原市田中美術館・田中苑〈飛翔〉1985/〈月〉1996 (岡山県井原市)
井原鉄道井原駅〈扇〉1998 (岡山県井原市)
アクティブライフ井原〈TO THE SKY〉1994 (岡山県井原市)
広島市現代美術館〈安芸の翼〉1987-88/1989設置 (広島県広島市)
広島広域公園〈HOP, STEP AND JUMP〉(織田幹雄記念碑) 1994 (広島県広島市)
JR大竹駅前〈和〉(大竹市市政30周年記念塔) 1984 (広島県大竹市)
山口県立萩美術館・浦上記念館〈浦上敏朗先生像〉2001 (山口県萩市)
吉香公園〈石の翼〉1985 (山口県岩国市)
岩国市民文化会館〈フェニックスの翼〉1982/〈そりのあるかたち〉1988 (山口県岩国市)
山口県立岩国工業高等学校〈創造〉1977/〈芽〉1989 (山口県岩国市)
錦川錦帯橋鶴飼広場〈日・月・星〉1996 (山口県岩国市)
山口県民文化ホールいわくに「シンフォニア岩国」〈TO THE SKY〉〈MOON〉1996 (山口県岩国市)
岩国市周東文化会館パストラルホール〈TO THE SKY〉2005 (山口県岩国市)
山口県岩国総合庁舎〈おひさん〉1996 (山口県岩国市)
岩国市役所〈錦帯〉2008/〈岩国市民憲章の碑〉2011 (山口県岩国市)
和木町立和木美術館〈TO THE SKY〉1992 (山口県玖珂郡和木町)
キリンビバレッジ周南総合スポーツセンター〈TO THE SKY〉1992 (山口県周南市)
亀山公園噴水〈うごく城〉1989 (山口県山口市)
山口県庁〈そりのあるかたち〉〈フェニックスの翼〉1983/県庁前庭〈鷺舞の譜〉1984 (山口県山口市) 第13回吉田五十八賞
山口県立総合医療センター〈鶴〉1982/〈SETONAIKAI〉〈NIHONKAI〉〈HIBIKINADA〉1983 (山口県防府市)
西佐波緑地〈矢羽根石〉1986 (山口県防府市)
宇部市ときわ公園〈そりのあるかたち〉1979 (山口県宇部市) 第8回現代日本彫刻展宇部市野外彫刻美術館賞
JR宇部新川駅〈そりのあるかたち〉1981 (山口県宇部市) 第9回現代日本彫刻展毎日新聞社賞
下関市日和山公園〈国司浩助氏像〉1984 (山口県下関市)
下関あるかばーと〈青春交響の塔(坂本龍馬と高杉晋作の肖像)〉2003 (山口県下関市)

近畿

- 京都迎賓館〈翔〉2005 (京都府京都市)
明治安田生命大阪梅田ビル〈月琴〉2000 (大阪府大阪市)
神戸市立中央体育館〈そりとそぎのあるかたち〉1980/1981設置
(兵庫県神戸市) 第7回神戸須磨離宮公園現代彫刻展公園賞
彫刻のあるシンボルロード〈お月さまのかお〉1989 (兵庫県姫路市)
あさご芸術の森美術館〈おつきさま〉2001/2012設置 (兵庫県朝来市)

四国

- 宇和島城上り立ち門前〈児島惟謙先生像〉1985 (愛媛県宇和島市)

九州

- 玄海国定公園・恋の浦ガーデン〈風門〉1988 (福岡県福津市)
朝倉文夫記念館 庭園造形〈過去・現在・未来〉〈流れ〉〈噴水〉
1990 (大分県豊後大野市)
大分空港〈TO THE SKY〉1993 (大分県国東市)
いおワールド・かごしま水族館〈風〉1997 (鹿児島県鹿児島市)



北海道

JR 釧路駅〈光る風〉1987 (北海道釧路市)
札幌芸術の森美術館〈そりのあるかたち〉1986 (北海道札幌市)
とうや湖ぐるっと彫刻公園〈月〉1995 (北海道洞爺湖町)

東北

秋田県立近代美術館〈TO THE SKY〉1993 (秋田県横手市)
小国町役場〈TO THE SKY〉1989 (山形県西置賜郡小国町)
遊佐町立遊佐中学校〈TO THE SKY〉1993
(山形県飽海郡遊佐町)



中部

高田公園〈そりのあるかたち'84〉1984 (新潟県上越市)
〈益田孝(鈍翁)顕彰碑〉2001 (新潟県佐渡市)
平山郁夫シルクロード美術館〈SUN〉2001 (山梨県北杜市)
長野市霊園〈やまびこ〉1979 (長野県長野市) 第7回長野市屋外彫刻賞
松本市総合体育館〈TO THE SKY〉1991 (長野県松本市)
高山市役所〈木精〉1996 (岐阜県高山市)
OKB ふれあい会館〈TO THE SKY〉1993 (岐阜県岐阜市)
ヴィンテージ熱海・桃山〈フェニックスの翼〉1991 (静岡県熱海市)
碧南市立東中学校〈TO THE SKY〉1992 (愛知県碧南市)

関東

取手市こぶし公園〈おつきさま〉1995 (茨城県取手市)
取手市役所〈菊地勝太郎先生像〉1998 (茨城県取手市)
栃木県警察学校〈黒須周作先生像〉1978 (栃木県宇都宮市)
小山市立文化センター〈そりのあるかたち〉1984 (栃木県小山市) 栃木県小山彫刻展大賞
群馬大学昭和キャンパス〈井関尚栄先生像〉1993 (群馬県前橋市)
国営武蔵丘陵森林公園〈そりのあるかたち'84〉1984 (埼玉県比企郡滑川町)
館山城・城山公園〈光と風と夢〉1985 (千葉県館山市)
東京湾アクアライン海ほたる〈カッターフェイス〉1997 (千葉県木更津市)
千葉銀行本店〈TO THE SKY〉2022 (千葉県千葉市)
葛飾区文化会館「かつしかシンフォニーヒルズ」〈フェニックスの翼〉1992 (東京都葛飾区)
東京スカイツリータウン®内「ソラマチひろば」〈TO THE SKY〉2012 (東京都墨田区)
とうきょうスカイツリー駅〈TO THE SKY〉2012 (東京都墨田区)
東京スカイツリー®デザイン監修 2012 (東京都墨田区)
国立科学博物館〈TO THE SKY〉2006 (東京都台東区)
台東区生涯学習センター〈MASK〉1996 (東京都台東区)
永平寺別院長谷寺〈黒田清綱・黒田清輝顕彰碑レリーフ〉1989 (東京都港区)
新日本石油虎ノ門ビル〈TO THE SKY〉1997 (東京都港区)
大崎ブライタワー〈TO THE SKY〉2015 (東京都品川区)
東京信用保証協会ビル〈翔〉2000 (東京都中央区)
日本橋プラザビル〈フェニックスの翼D〉制作年不詳 (東京都中央区)
弁護士会館〈無題〉1995 (東京都千代田区)
日本書道教育学会〈石橋犀水先生像〉2000 (東京都千代田区)
日本生命丸の内ビル〈TO THE SKY〉2004 (東京都千代田区)
東京駅八重洲口「グランルーフ」デザインコミッティ委員として参加 2013 (東京都千代田区)
新宿モリスビル〈TO THE SKY〉1990 (東京都新宿区)
NTTドコモ代々木ビル〈TO THE SKY〉2000 (東京都渋谷区)
國學院大学渋谷キャンパス〈翔〉〈翼〉2009 (東京都渋谷区)
東京大学インターナショナルロジック 駒場ロジック〈RING〉1995 (東京都目黒区)
世田谷美術館〈そりのあるかたち〉1983 第1回東京野外現代彫刻展優秀賞/
〈そりのあるかたち: Wings of Phoenix〉1983/1986設置 (東京都世田谷区)
清瀬市中央公園〈平和の塔〉1974 (東京都清瀬市)
キョセキヤキロードギャラリー〈そりのあるかたち'90〉1990 (東京都清瀬市)
清瀬けやきホール〈日・月〉〈清瀬の流れ〉2010 (東京都清瀬市)
東京外国語大学〈翔〉2000 (東京都府中市)
電気通信大学〈そりのあるかたち〉1991 (東京都調布市)
市制五十周年記念憩いの場〈TO THE SKY〉1991 (東京都立川市)
はばたきの郷八王子自立ホーム〈はばたき〉1989 (東京都八王子市)
南大沢輪舞歩道橋 デザイン監修 1995 (東京都八王子市)
三井住友海上火災保険株式会社〈光庭〉1989 (東京都)
神奈川県庁〈飛翔〉1981 (神奈川県横浜市)
一本橋・万里橋・道慶橋 デザイン監修 1988-89 (神奈川県横浜市)
鴨池橋 デザイン監修/〈フェニックスの翼〉1990 (神奈川県横浜市)
横浜公園〈リチャード・ヘンリー・ブラントン記念像〉1991 (神奈川県横浜市)
横浜市南部斎場〈WINGS OF PHOENIX〉1991 (神奈川県横浜市)
横浜銀行本店〈そりのあるかたち〉1993 (神奈川県横浜市)
横浜市本牧山頂公園 下村観山記念碑〈種〉1998 (神奈川県横浜市)
横浜みなとみらい線馬車道駅〈金波・銀波〉2004/2021改修 (神奈川県横浜市)
青山学院大学相模原キャンパス〈TO THE SKY〉1992 (神奈川県相模原市)
日清オイログループ株式会社中央研究所〈TO THE SKY〉1991 (神奈川県横須賀市)
NTTドコモR&Dセンタ〈そりのあるかたち〉2002 (神奈川県横須賀市)
南足柄市文化会館「金太郎みらいホール」〈TO THE SKY〉1992 (神奈川県南足柄市)
彫刻の森美術館〈白のマスク〉1969 第1回現代国際彫刻展コンクール賞/
〈手品師の椅子〉1971 (神奈川県足柄下郡箱根町)

澄川喜一 寄贈作品集

発行日 2023年3月31日

編集

左近充直美（島根県立石見美術館 専門学芸員）

資料調査

的野克之（島根県芸術文化センター長・島根県立石見美術館長）

デザイン

野村勝久（野村デザイン制作室）

岡田一星（野村デザイン制作室）

松本恵子（k.design）

印刷

大村印刷株式会社

協力

澄川喜一

内海詔子（株式会社ケー・エス・アート）

発行

島根県立石見美術館

〒698-0022 島根県益田市有明町5-15

電話 0856-31-1860（代表）

E-mail zaidan@grandtoit.jp

<https://www.grandtoit.jp/museum/>

© Iwami Art Museum, 2023

